

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月24日

相模原市長 殿

提出者

住所 東京都府中市府中町2丁目1番地の14

氏名 京王建設株式会社
代表取締役社長 高山 恒明
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 042-336-7300



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	京王建設株式会社	自主管理事業登録番号 ()	
事業場の所在地	東京都府中市府中町2丁目1番地の14	TEL(連絡先): 042-336-7300	
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	D-建設業 (具体的には) 06:総合工事業		
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
令和五年度 完成工事高 23,258百万円			
③ 従業員数	391人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック→破砕→再生利用(又は最終処分) ・金属くず→破砕/圧縮→再生利用 ・がれき類→破砕→再生利用(又は最終処分) ・ガラス陶磁器類→破砕/圧縮→再生利用(又は最終処分) ・紙くず→焼却→焼却灰を再生利用 ・繊維くず→焼却→再生利用 ・汚泥→乾燥→再生利用・コンから、アスから→破砕→再生利用 		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

京王建設における産業廃棄物管理体制について

安全環境品質部が産業廃棄物管理の主幹であり、各行政やステークホルダーに対して、環境関連のデータの提供、問合せの窓口となる。

社内には、各本部の管理部または管理課の産業廃棄物管理担当者が自本部内の各作業所の業務で発生した産業廃棄物の管理をし、最終的な集計データを安全環境品質部に提出する。

安全環境品質部は定期的に各作業所における産業廃棄物処理状況の監査、協力会社である産業廃棄物の中間処理、最終処分状況の視察を行い、また、年数回社員への産廃処理に関する教育を実施する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類数

9種類

* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。

① 排出量

2,550.2 t

(これまでに実施した取組)

① 現状

ISO14001環境マネジメントシステムに基づく年度目標を設定し、分別による混合廃棄物の削減とリサイクルの推進に取り組んでいます。

【(令和6年度)目標】

産業廃棄物の種類数

9種類

* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。

① 排出量

2,422.8 t

(今後実施する予定の取組)

② 計画

今後も上記目標を継続実施し、排出量の削減とリサイクル率の向上に努めます。

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

① 現状

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

② 計画

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0	t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	弊社では、自ら産業廃棄物の再生利用は行っていません。			
② 計画	【(令和6年度)目標】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)		t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	今後も、自ら産業廃棄物の再生利用を行う計画はありません。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	弊社では、自ら産業廃棄物の中間処理は行っていません。			
② 計画	【(令和6年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)		t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	今後も、自ら産業廃棄物の中間処理を行う計画はありません。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
	弊社では、自ら産業廃棄物の埋立処分、海洋投入処分は行っていません。		
② 計画	【(令和6年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も、自ら産業廃棄物の埋立処分、海洋投入処分を行う計画はありません。		

* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。

* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】			
	⑩ 全処理委託量	2,550.2	t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,113.1	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	2,505.6	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	
	(これまでに実施した取組)			
	産業廃棄物の処理委託に当たっては、電子 manifests の使用を推進しています。			

② 計画	【(令和6年度)目標】		* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑩ 全処理委託量	2,422.8 t	
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,057.5 t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	2,380.4 t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	
	(今後実施する予定の取組)		
	①優良認定処理業者への処理委託を推進します。 ②再生利用業者への処理委託を推進します。		
※ 事務処理欄			

備考

- 1 この様式は、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和6年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

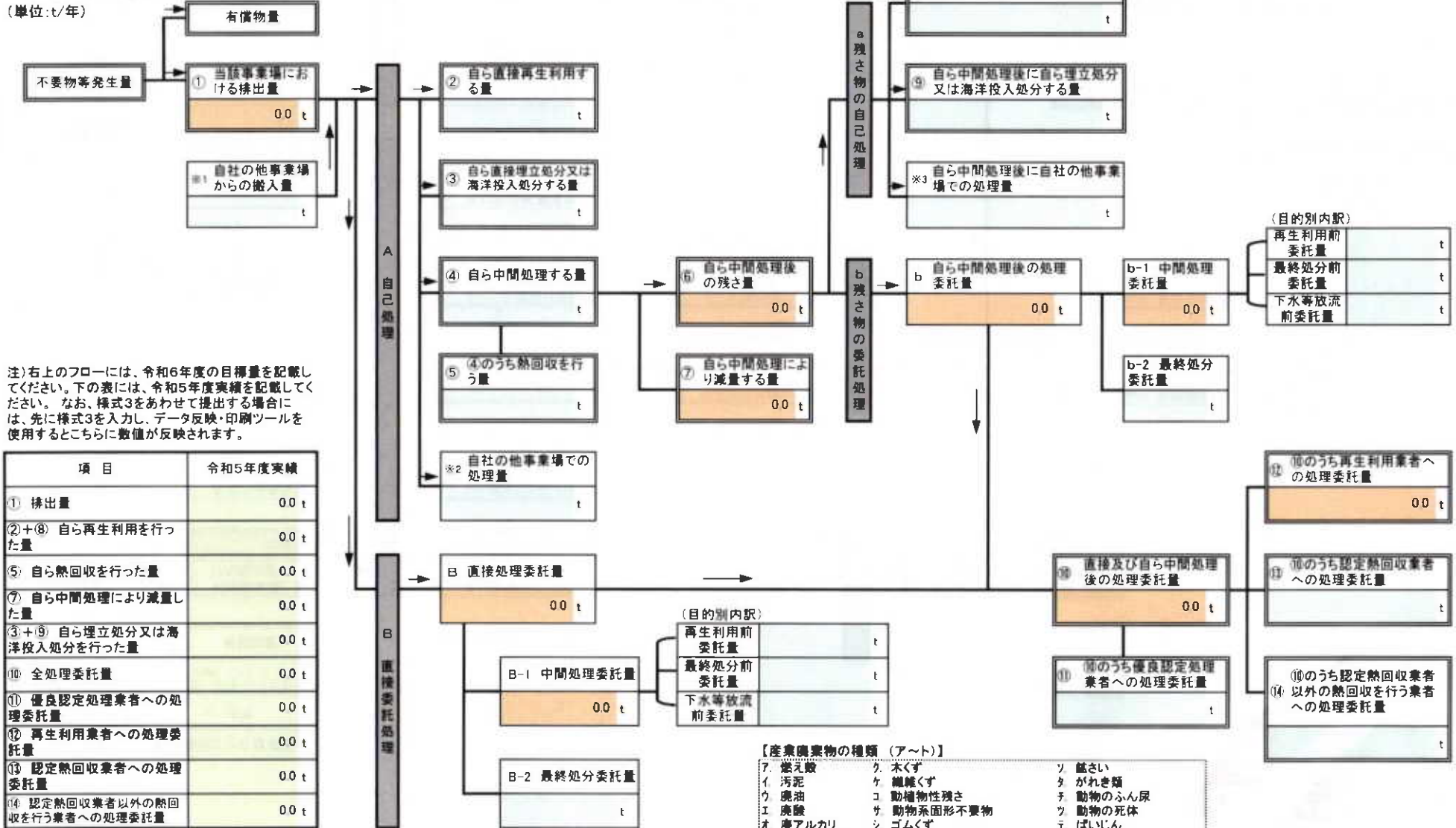
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ア 燃え殻
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧) 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤) 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦) 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨) 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩) 全処理委託量	0.0 t
⑪) 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫) 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑬) 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭) 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- | | | |
|------------|--------------------|------------|
| ア 燃え殻 | ク 木くず | ソ 紙さい |
| イ 汚泥 | ケ 繊維くず | タ がれき類 |
| ウ 廃油 | コ 動植物性残さ | チ 動物のふん尿 |
| エ 廃酸 | サ 動物系固形不棄物 | ツ 動物の死体 |
| オ 廃アルカリ | シ ゴムくず | テ ばいじん |
| カ 廃プラスチック類 | ス 金属くず | ト 混合廃棄物その他 |
| キ 紙くず | セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず | |

事業場名称 : 京王建設株式会社

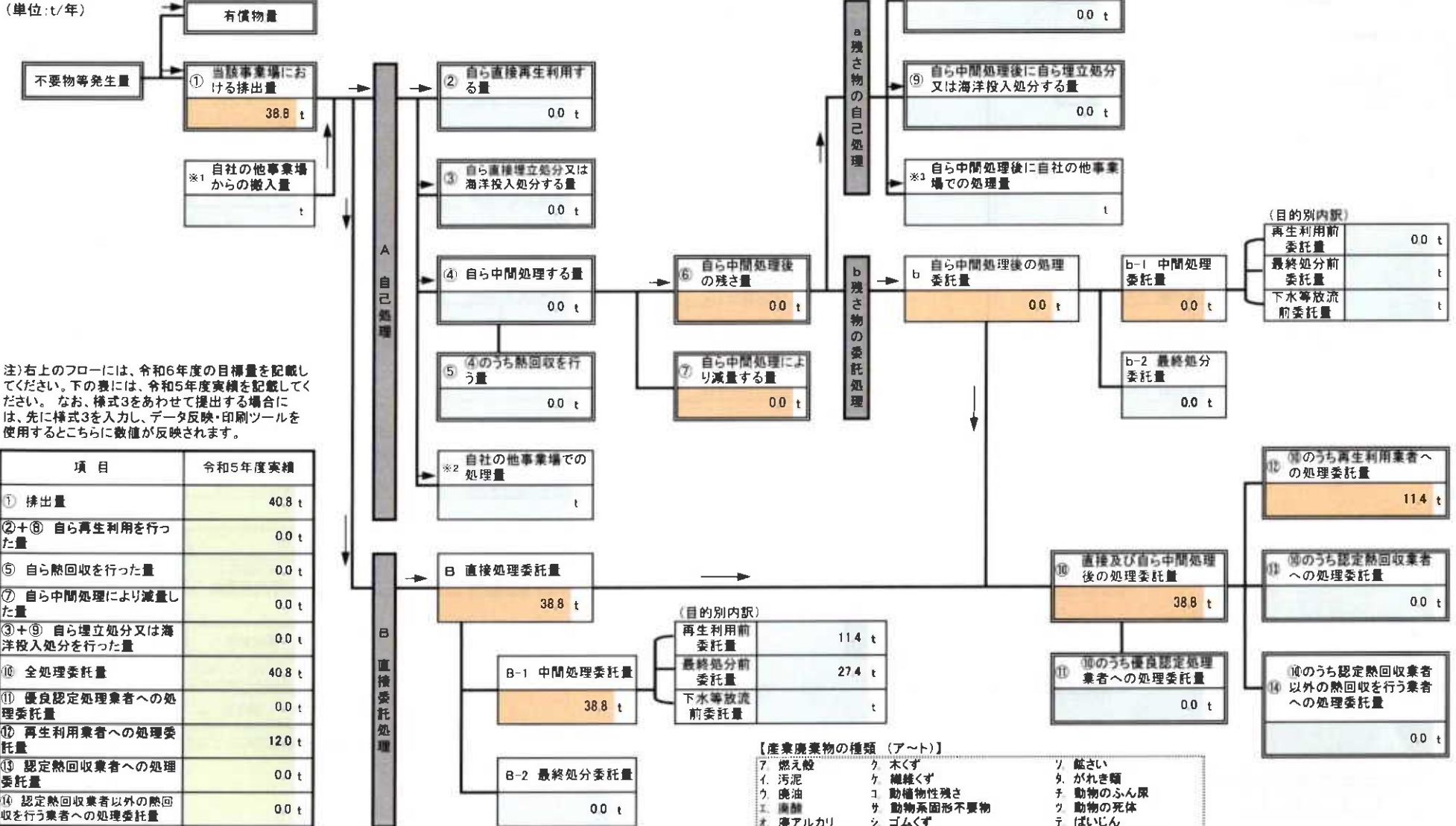
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	イ 汚泥
------------------	------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	40.8 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	40.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	12.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃酸
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 木くず
 - ケ 繊維くず
 - コ 動物性残さ
 - サ 動物系固形不燃物
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ 鉱さい
 - タ がれき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

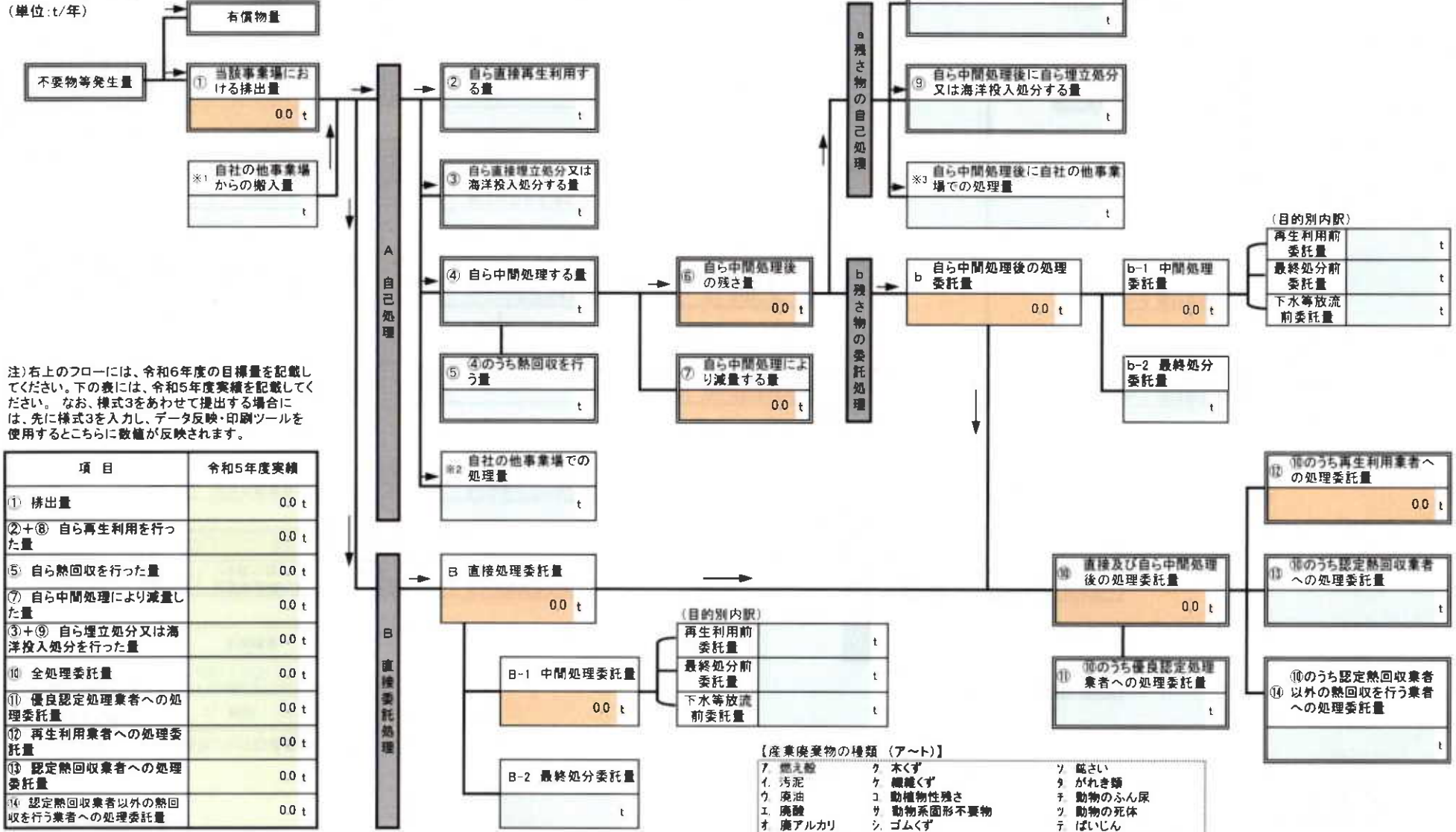
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ウ 廃油
------------------	------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 酸液
 - オ 腐アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 木くず
 - ケ 繊維くず
 - コ 動植物性残さ
 - サ 動物系固形不要物
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ 磁さい
 - タ がれき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

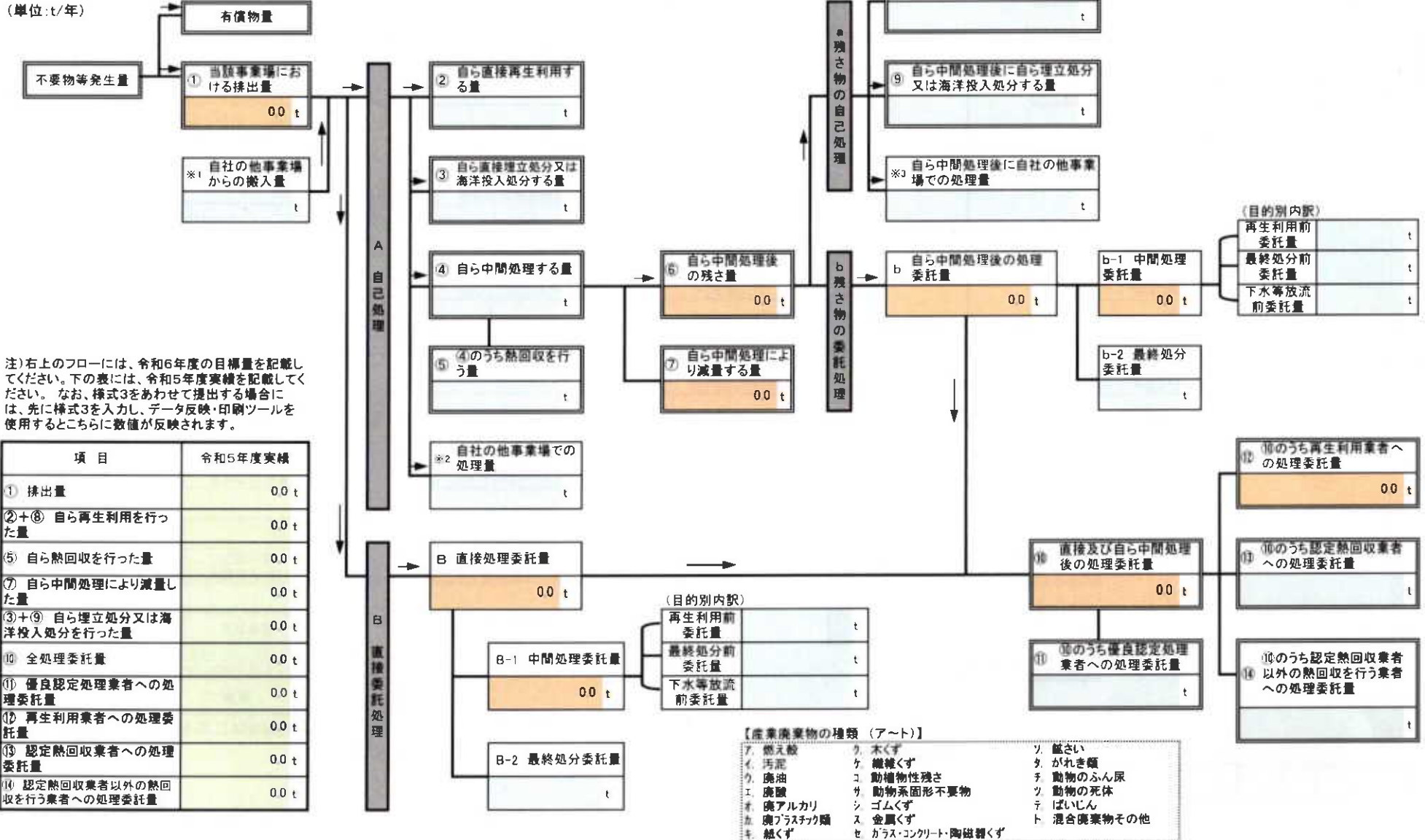
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	エ 廃酸
------------------	------

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	00 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t
⑩ 全処理委託量	00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	00 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不燃物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

事業場名称 : 京王建設株式会社

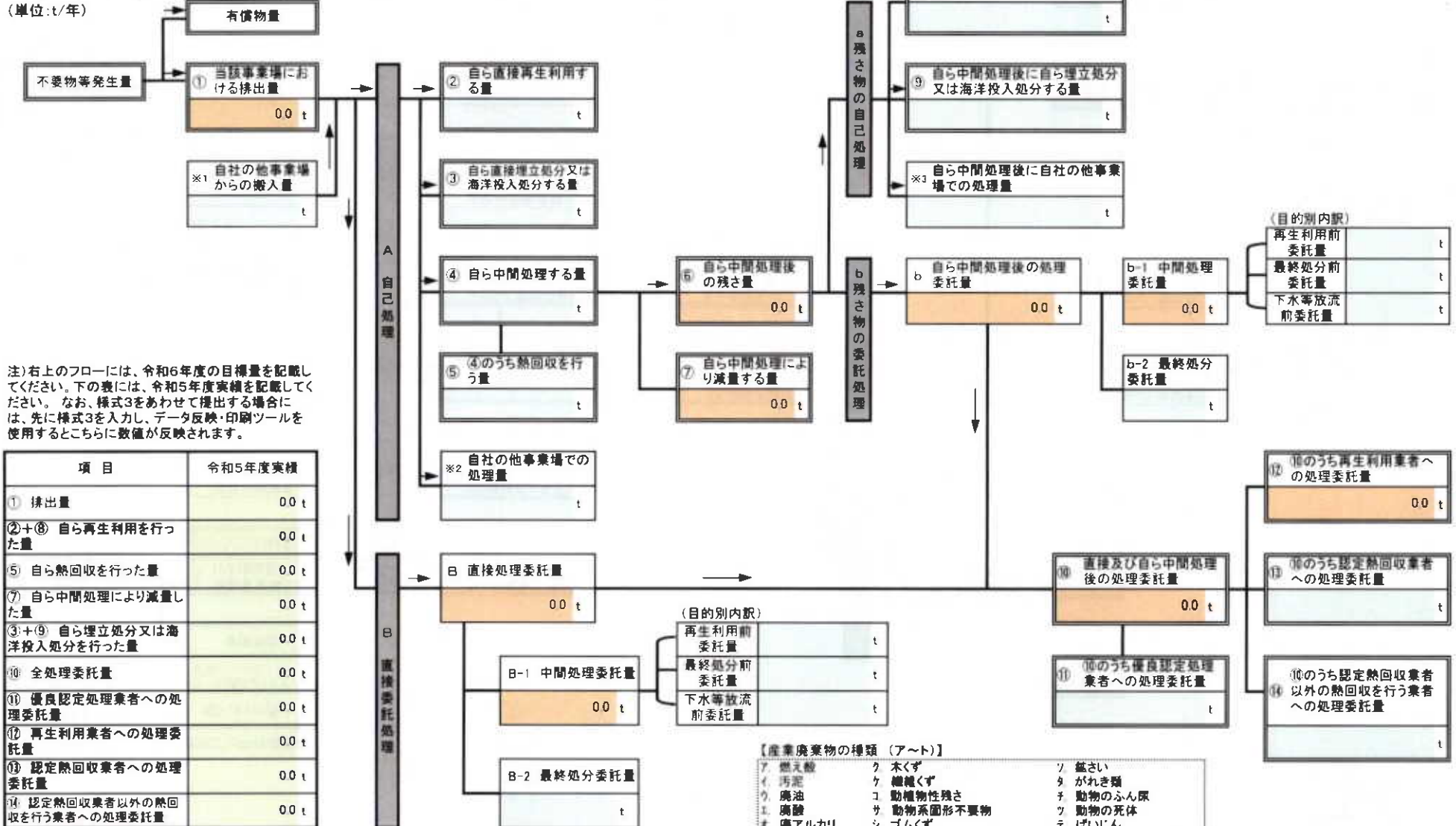
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	オ 廃アルカリ
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア 燃え殻	ク 木くず	ソ 紙さい
イ 汚泥	ケ 織物くず	タ がれき類
ウ 廃油	コ 動植物性残さ	チ 動物のふん尿
エ 腐酸	サ 動物系固形不燃物	ツ 動物の死体
オ 廃アルカリ	シ ゴムくず	テ ばいじん
カ 廃プラスチック類	ス 金属くず	ト 混合廃棄物その他
キ 紙くず	セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	

事業場名称 : 京王建設株式会社

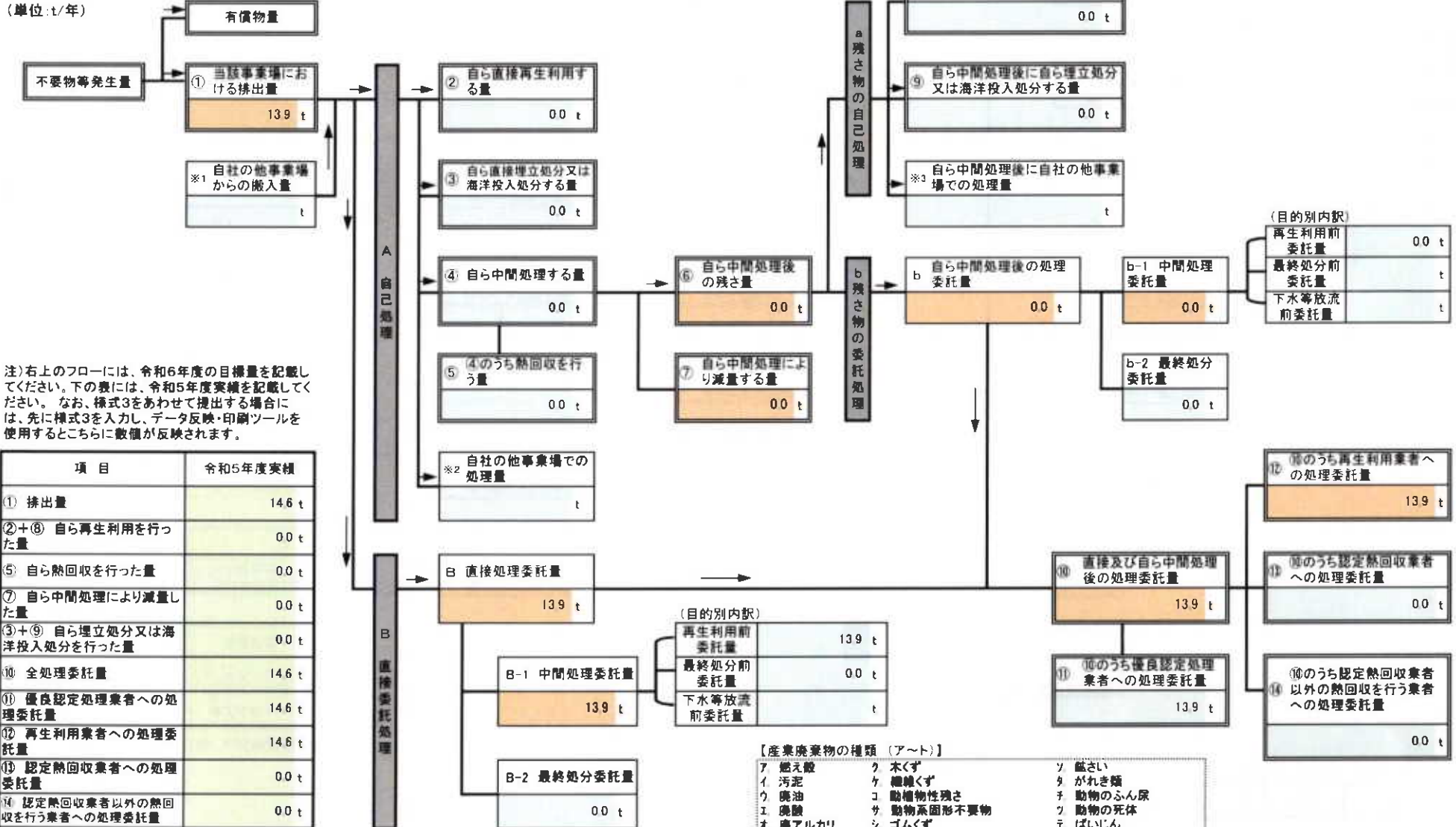
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	カ 廃プラスチック類
------------------	------------

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	146 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t
⑩ 全処理委託量	146 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	146 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	146 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア 燃え殻	ク 木くず	ソ ぬい
イ 汚泥	ケ 繊維くず	タ がれき類
ウ 廃油	コ 動植物性残さ	チ 動物のふん尿
エ 廃酸	サ 動物系固形不要物	ツ 動物の死体
オ 廃アルカリ	シ ゴムくず	テ ばいじん
カ 廃プラスチック類	ス 金属くず	ト 混合廃棄物その他
キ 紙くず	セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	

別紙処理フロー

事業場名称 : 京王建設株式会社

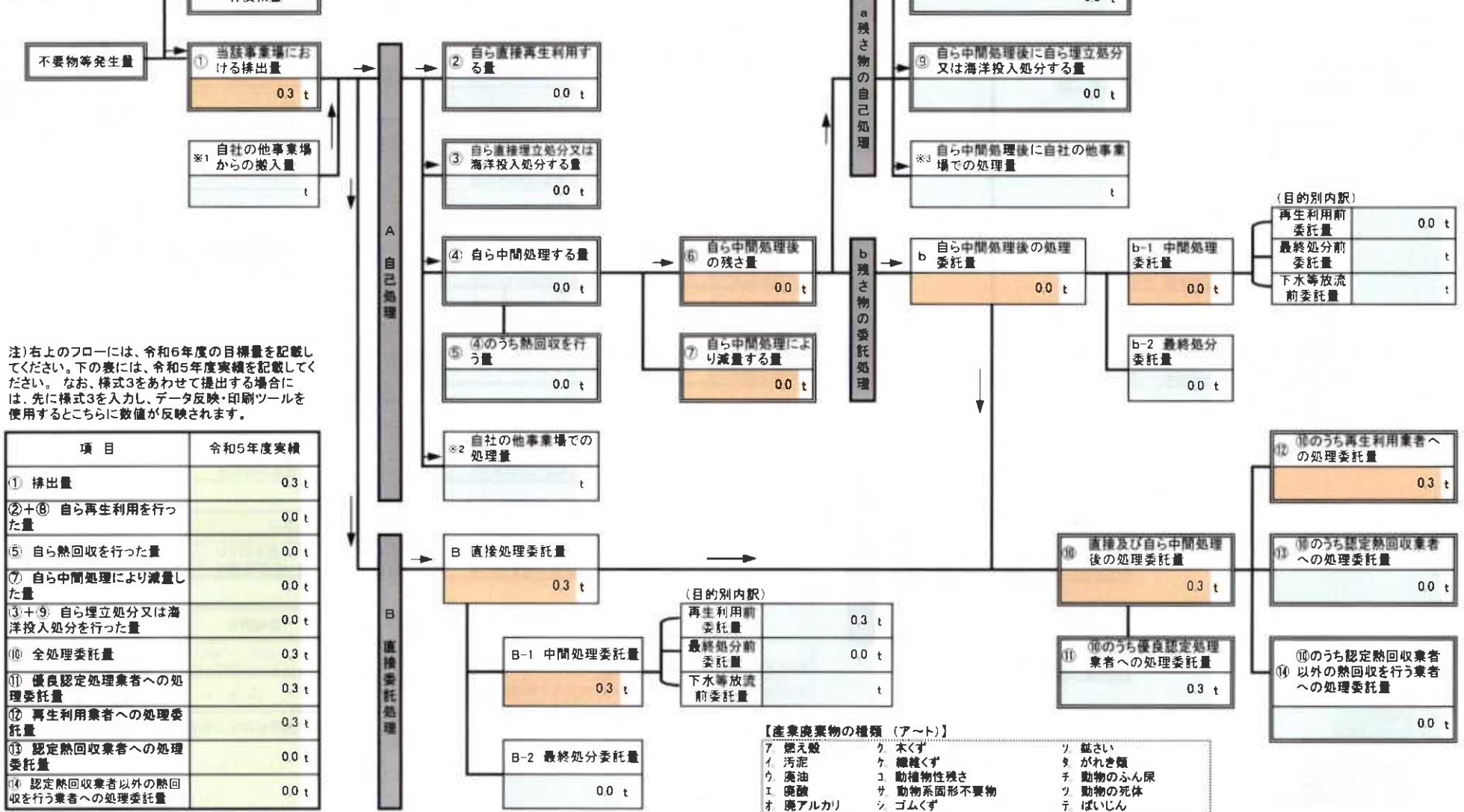
令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
キ 紙くず

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

「紙くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】パルプ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業（新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うもの）、出版業（印刷出版を行うもの）、製本業、印刷物加工業、建設業（工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの）

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	0.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- | | | |
|------------|--------------------|------------|
| ア 燃え殻 | ク 木くず | ソ 紙さい |
| イ 汚泥 | ケ 繊維くず | タ がれき類 |
| ウ 廃油 | コ 動物性残さ | チ 動物のふん尿 |
| エ 廃酸 | サ 動物系固形不棄物 | ツ 動物の死体 |
| オ 廃アルカリ | シ ゴムくず | テ ばいじん |
| カ 廃プラスチック類 | ス 金属くず | ト 混合廃棄物その他 |
| キ 紙くず | セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず | |

別紙処理フロー

事業場名称 : 京王建設株式会社

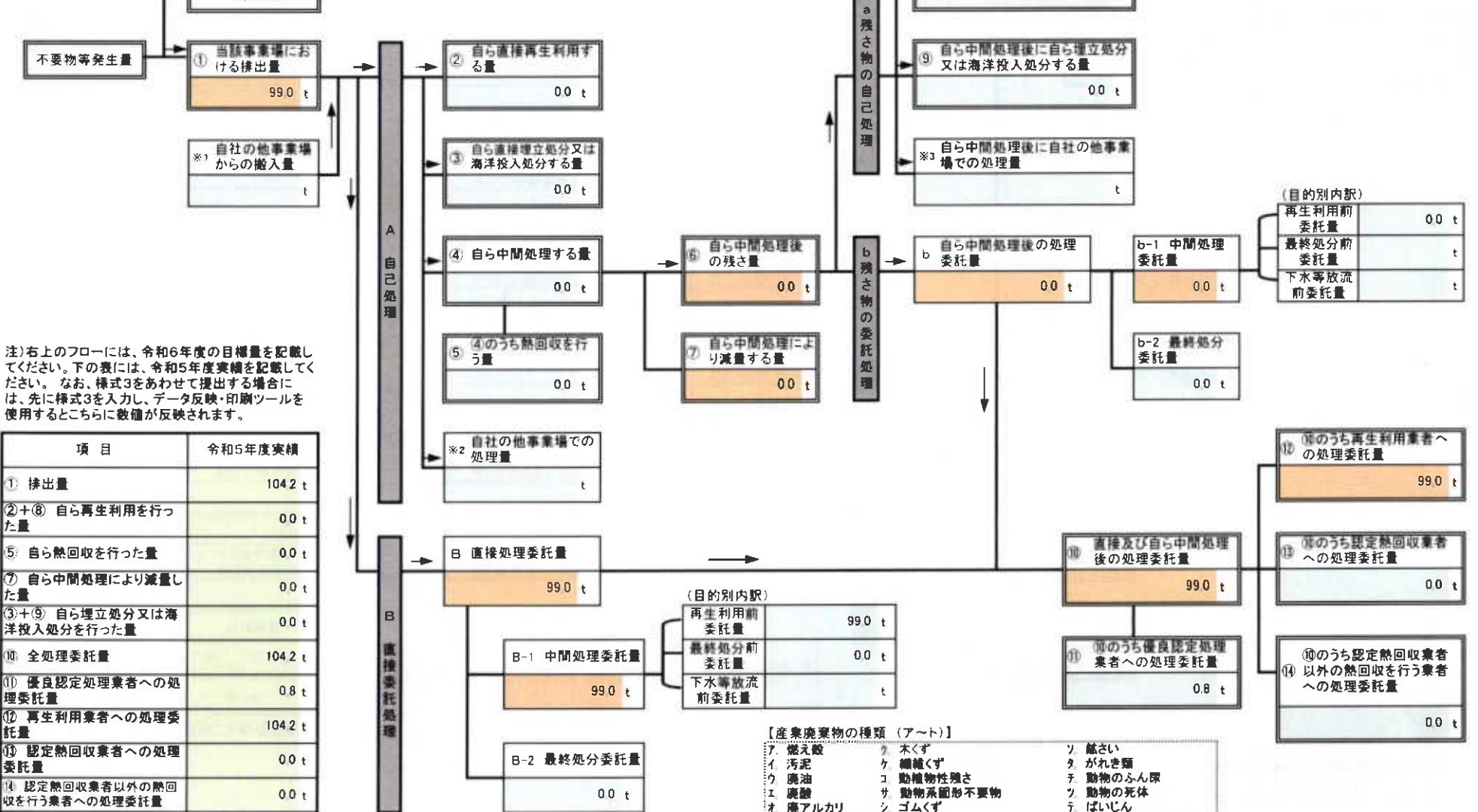
令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

「木くず」には事種指定等があり、該当事種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
 【該当事種】木材又は木製品の製造業(家具製造業を含む)、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品売買業に係るもの、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)。
 【企業種別】貨物の流通のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材を含む。)

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	1042 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t
⑩ 全処理委託量	1042 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	08 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	1042 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃酸
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 木くず
 - ケ 繊維くず
 - コ 動植物性残さ
 - サ 動物系固形不要物
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ 鹹さい
 - タ がれき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

事業場名称 : 京王建設株式会社

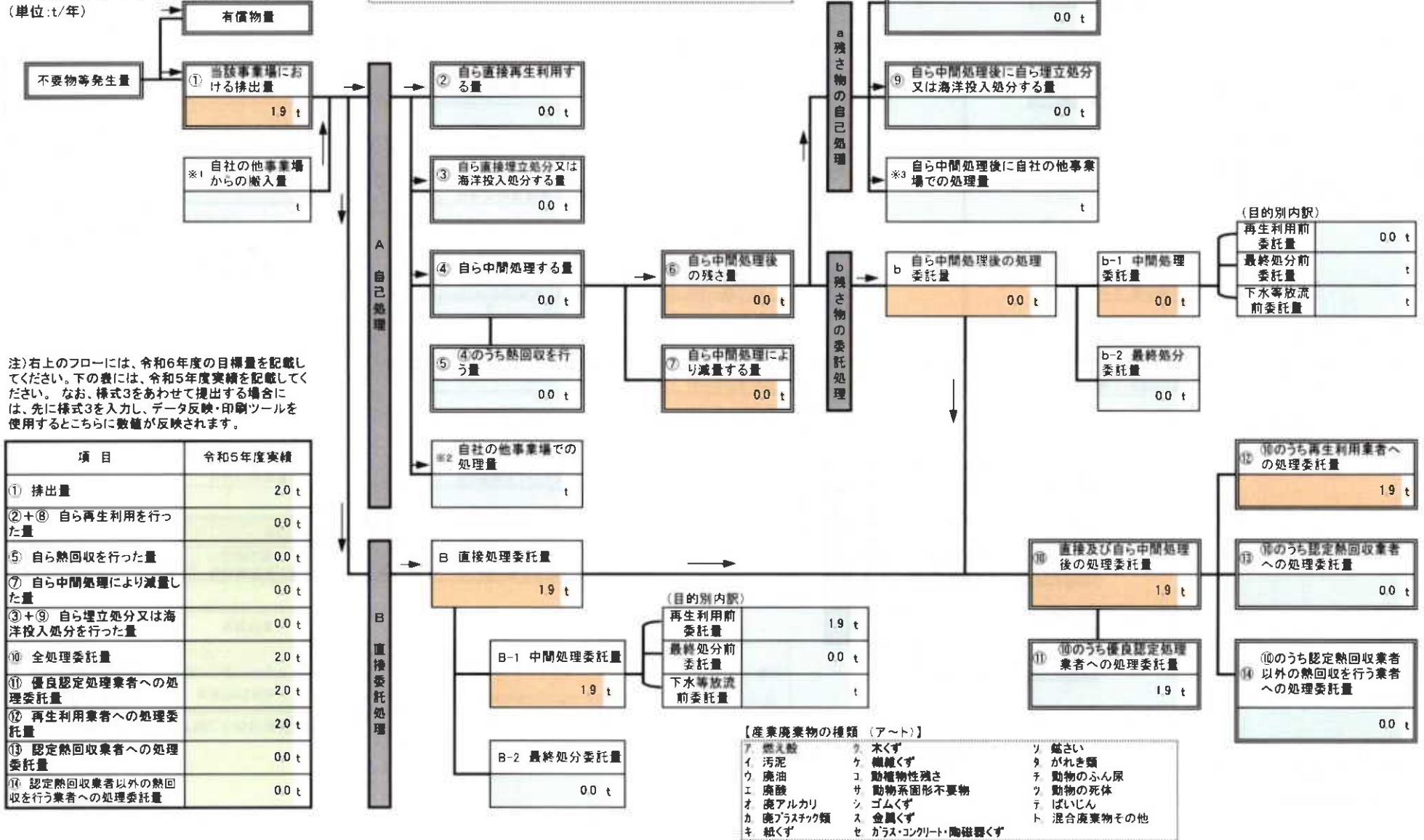
令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

ケ 繊維くず

(単位:t/年)

「繊維くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】繊維工業(衣服その他の繊維製品製造業を除く)、建設業(工作物の新築、改装、除去に伴って生じたもの)



注)右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	20 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	20 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	20 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	20 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア 燃え殻	カ 木くず	シ 鋸くず
イ 汚泥	ケ 繊維くず	タ がいき類
ウ 廃油	ク 動物性残さ	チ 動物のふん尿
エ 廃酸	ク 動物系固形不要物	ツ 動物の死体
オ 廃アルカリ	シ ゴムくず	テ ばいじん
カ 廃プラスチック類	ス 金属くず	ト 混合廃棄物その他
キ 紙くず	セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	

別紙処理フロー

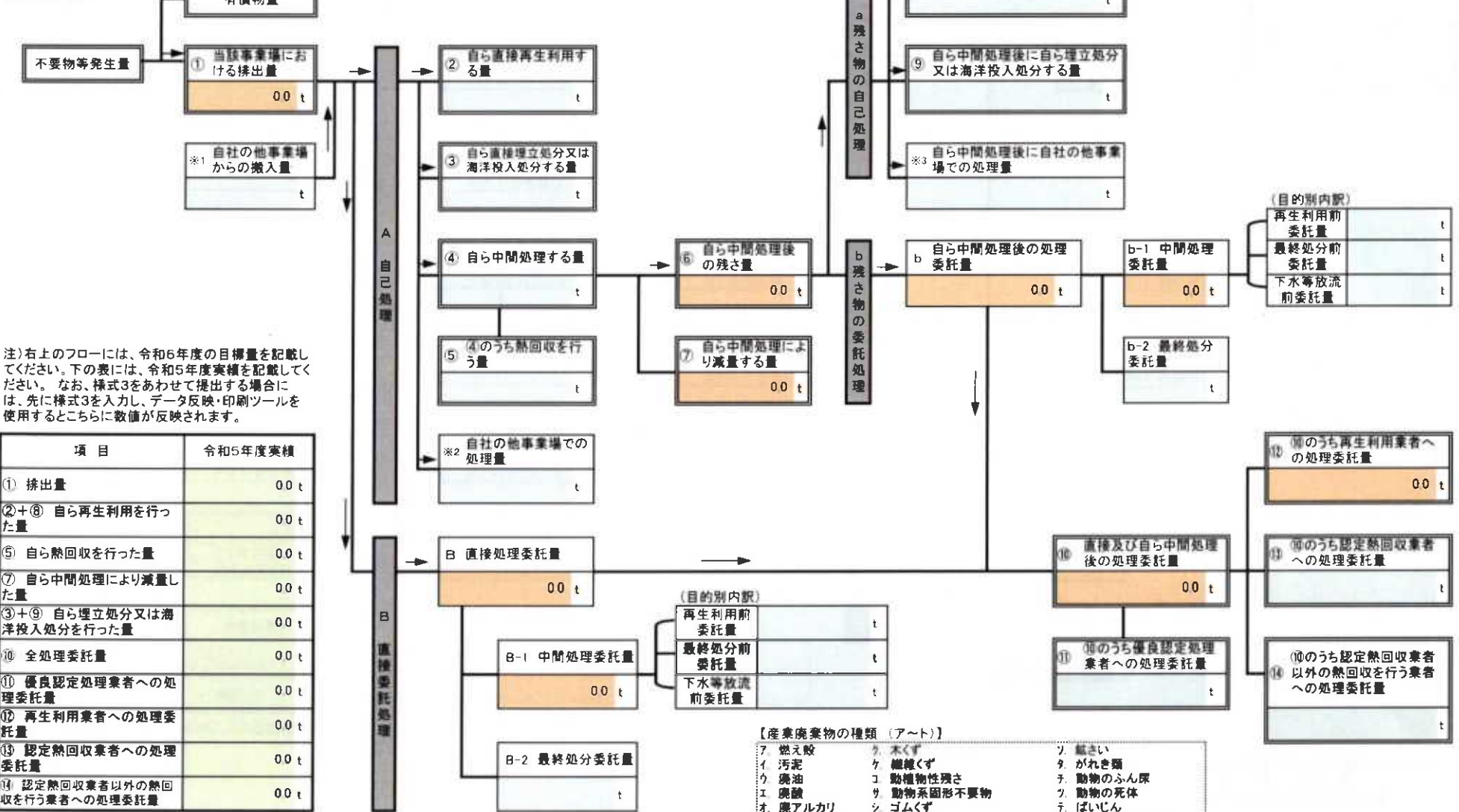
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
 コ 動植物性残さ
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

「動植物性残さ」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です
 【該当業種】食品製造業、医薬品製造業、香料製造業において原料として使用した動物又は植物の固形状の不要物

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	00 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t
⑩ 全処理委託量	00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	00 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - カ 木くず
 - リ 紙くず
 - イ 汚泥
 - ケ 繊維くず
 - タ がれき類
 - ウ 廃油
 - コ 動植物性残さ
 - チ 動物のふん尿
 - エ 廃酸
 - サ 動物系固形不要物
 - ツ 動物の死体
 - オ 廃アルカリ
 - シ ゴムくず
 - テ ばいじん
 - カ 廃プラスチック類
 - ス 金属くず
 - ト 混合廃棄物その他
 - キ 紙くず
 - セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず

別紙処理フロー

事業場名称 : 京王建設株式会社

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

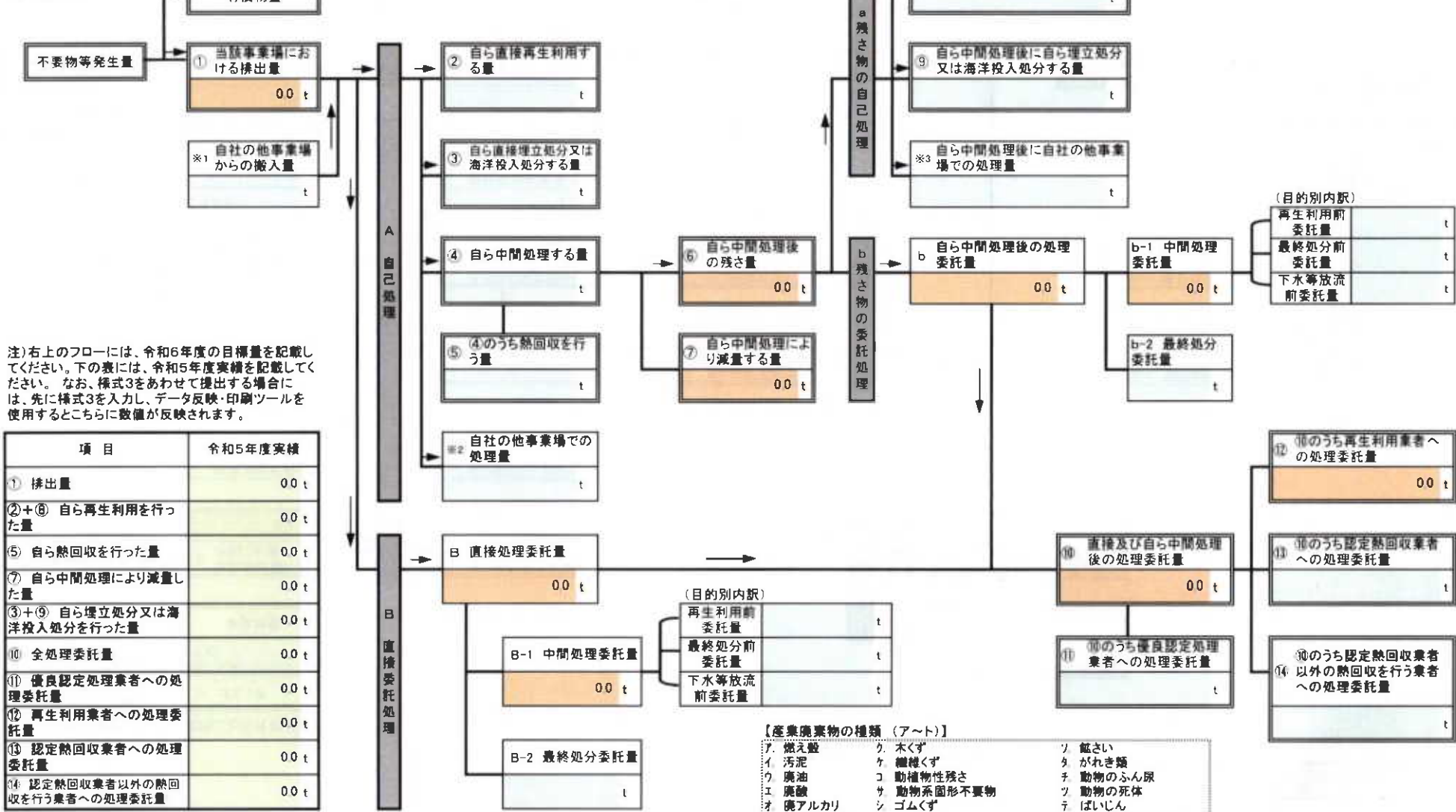
フローに記載した産業廃棄物の種類

サ 動物系固形不要物

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

【動物系固形不要物】には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】と番場においてとさつし、又は解体した獣畜及び食鳥処理場において食鳥処理をした食鳥に係る固形状の不要物

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	00 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t
⑩ 全処理委託量	00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	00 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃酸
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 木くず
 - ケ 繊維くず
 - コ 動植物性残さ
 - サ 動物系固形不要物
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ 鉱さい
 - タ がれき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

⑫のうち再生利用者への処理委託量	00 t
------------------	------

⑫のうち優良認定処理業者への処理委託量	t
---------------------	---

⑫のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
-------------------------------	---

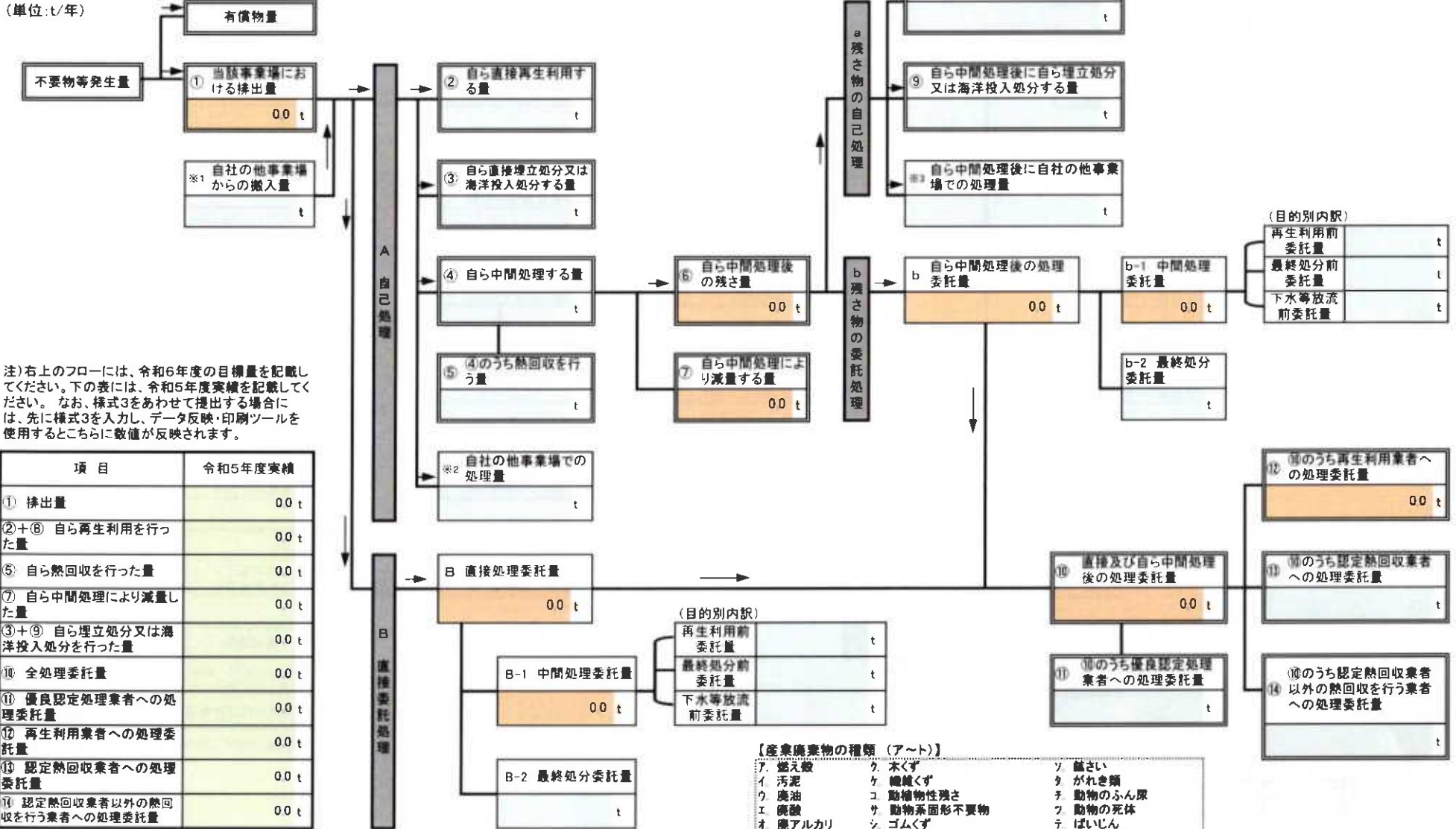
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類 **シ ゴムくず**

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	00 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t
⑩ 全処理委託量	00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	00 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- | | | |
|------------|--------------------|------------|
| ア 燃え殻 | ク 木くず | ソ 塵さい |
| イ 汚泥 | ケ 繊維くず | タ がれき類 |
| ウ 廃油 | コ 動植物性残さ | チ 動物のふん尿 |
| エ 廃酸 | サ 動物系面影不要物 | ツ 動物の死体 |
| オ 廃アルカリ | シ ゴムくず | テ はいじん |
| カ 廃プラスチック類 | ス 金属くず | ト 混合廃棄物その他 |
| キ 紙くず | セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず | |

事業場名称 : 京王建設株式会社

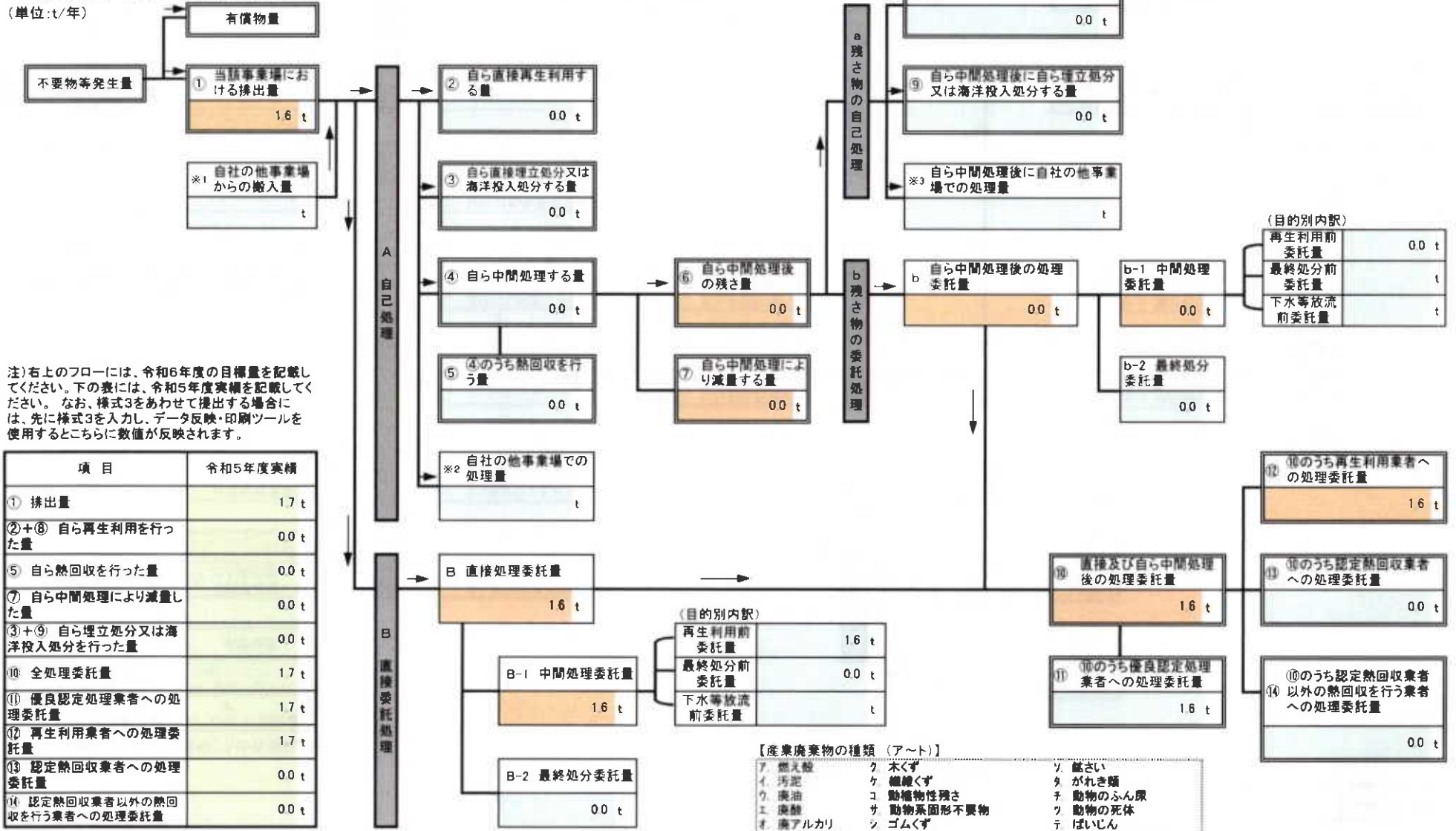
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ス、金属くず
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	1.7 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1.7 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	1.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア. 燃え殻	ク. 木くず	リ. 腐さい
イ. 汚泥	ケ. 繊維くず	ラ. がれき類
ウ. 廃油	コ. 動植物性残さ	チ. 動物のふん尿
エ. 廃酸	サ. 動物系固形不要物	ツ. 動物の死体
オ. 廃アルカリ	シ. ゴムくず	テ. ばいじん
カ. 廃プラスチック類	ス. 金属くず	ト. 混合廃棄物その他
キ. 紙くず	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	

事業場名称 : 京王建設株式会社

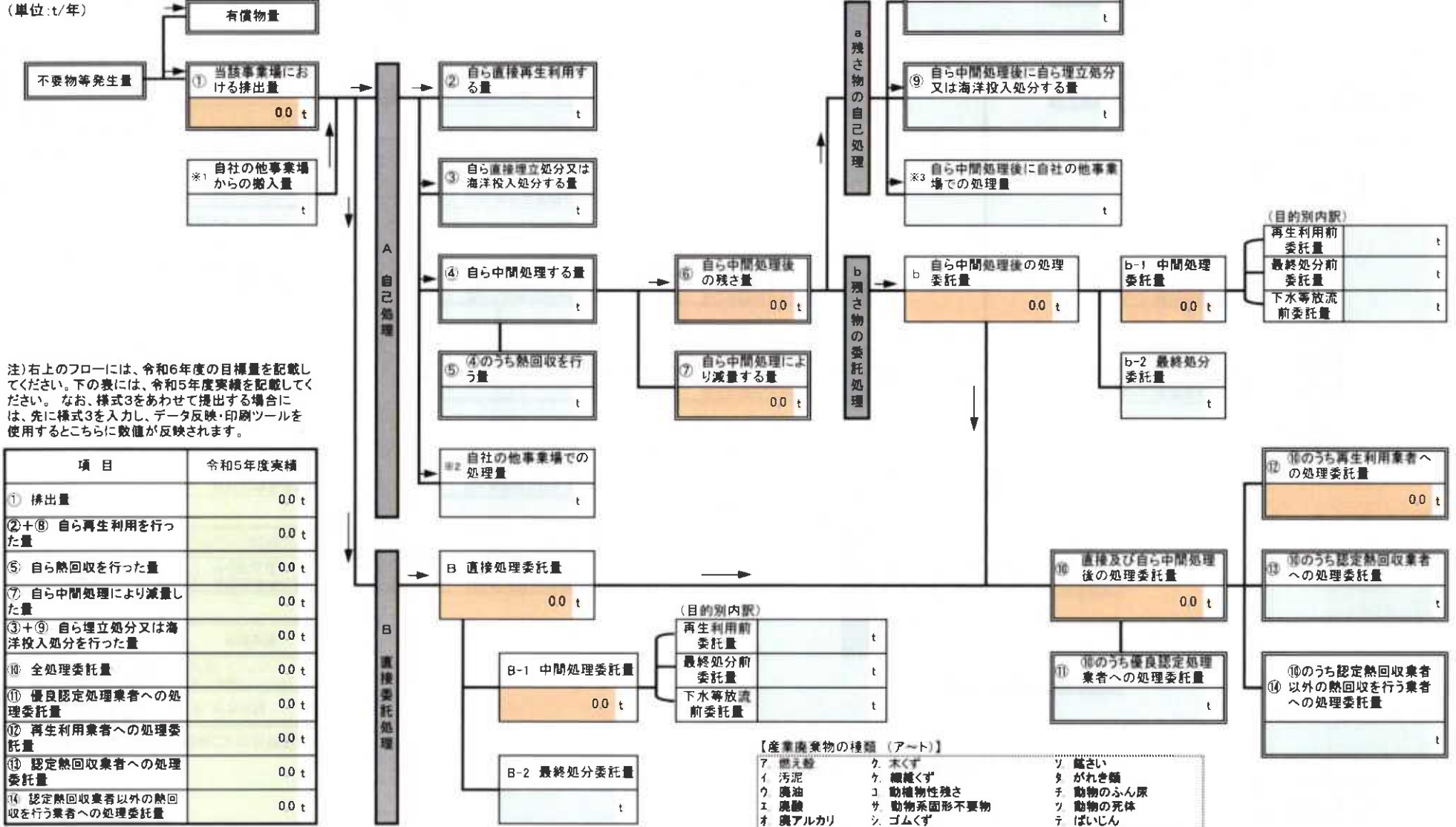
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類 ソ 磁さい

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	00 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t
⑩ 全処理委託量	00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	00 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア 燃え殻	カ 木くず	ソ 磁さい
イ 汚泥	キ 繊維くず	タ がれき類
ウ 廃油	ク 動物性残さ	チ 動物のふん尿
エ 廃酸	ク 動物系固形不要物	ツ 動物の死体
オ 廃アルカリ	シ ゴムくず	テ ばいじん
カ 廃プラスチック類	ス 金属くず	ト 混合廃棄物その他
キ 紙くず	セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	

(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

⑫のうち再生利用業者への処理委託量	00 t
-------------------	------

⑬のうち認定熱回収業者への処理委託量	t
--------------------	---

⑭のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
-------------------------------	---

(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

事業場名称 : 京王建設株式会社

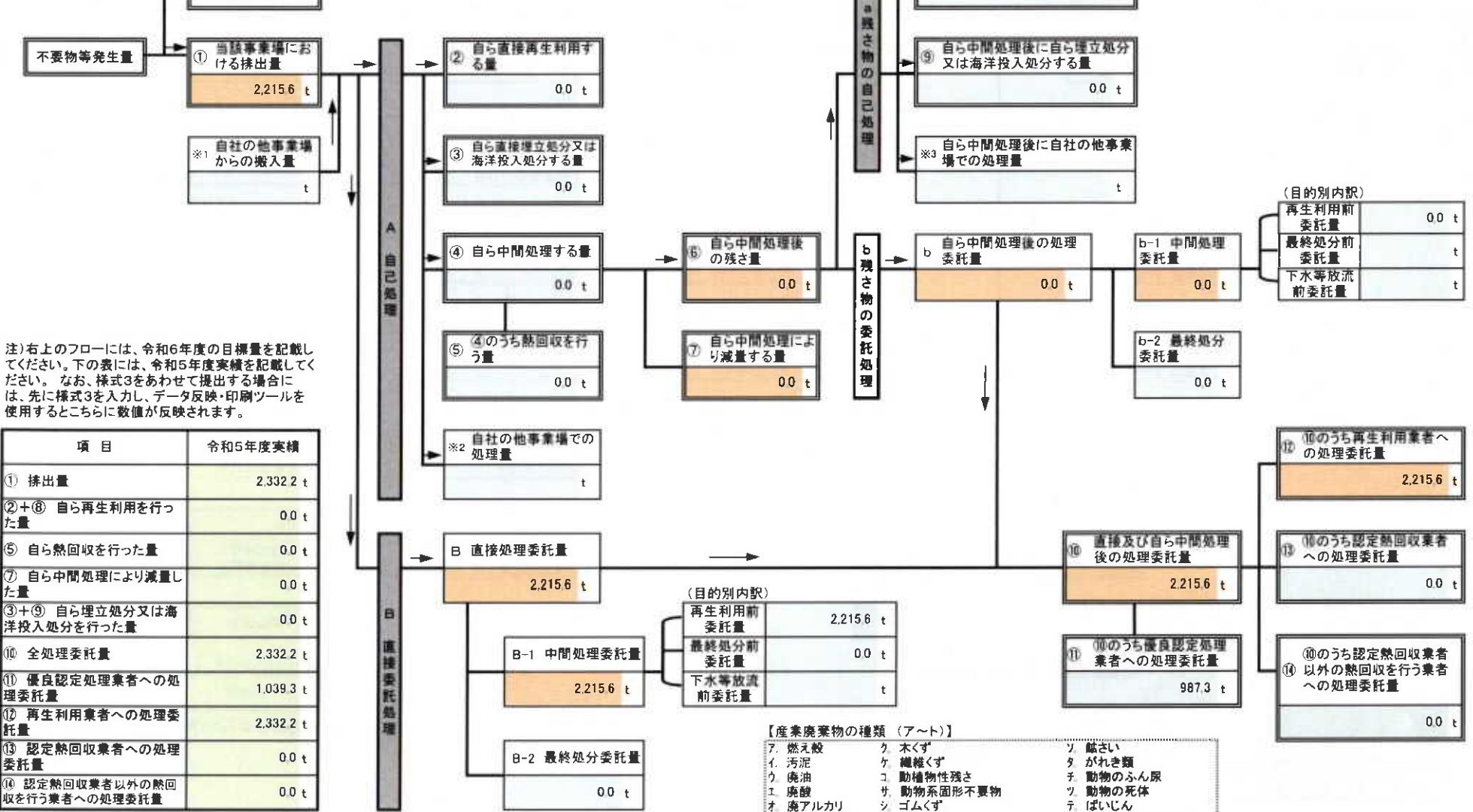
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	2,332.2 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2,332.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,039.3 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2,332.2 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- | | | |
|-------------|---------------------|-------------|
| ア. 燃え殻 | ク. 木くず | ソ. 鉱さい |
| イ. 汚泥 | ケ. 繊維くず | タ. がれき類 |
| ウ. 廃油 | コ. 動物植物性残さ | チ. 動物のふん尿 |
| エ. 廃酸 | サ. 動物系固形不燃物 | ツ. 動物の死体 |
| オ. 廃アルカリ | シ. ゴムくず | テ. ばいじん |
| カ. 廃プラスチック類 | ス. 金属くず | ト. 混合廃棄物その他 |
| キ. 紙くず | セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず | |

(目的別内訳)

再生利用前委託量	0.0 t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

(目的別内訳)

再生利用前委託量	2,215.6 t
最終処分前委託量	0.0 t
下水等放流前委託量	t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

2,215.6 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

0.0 t

⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0.0 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

987.3 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

2,215.6 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

0.0 t

⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0.0 t

別紙処理フロー

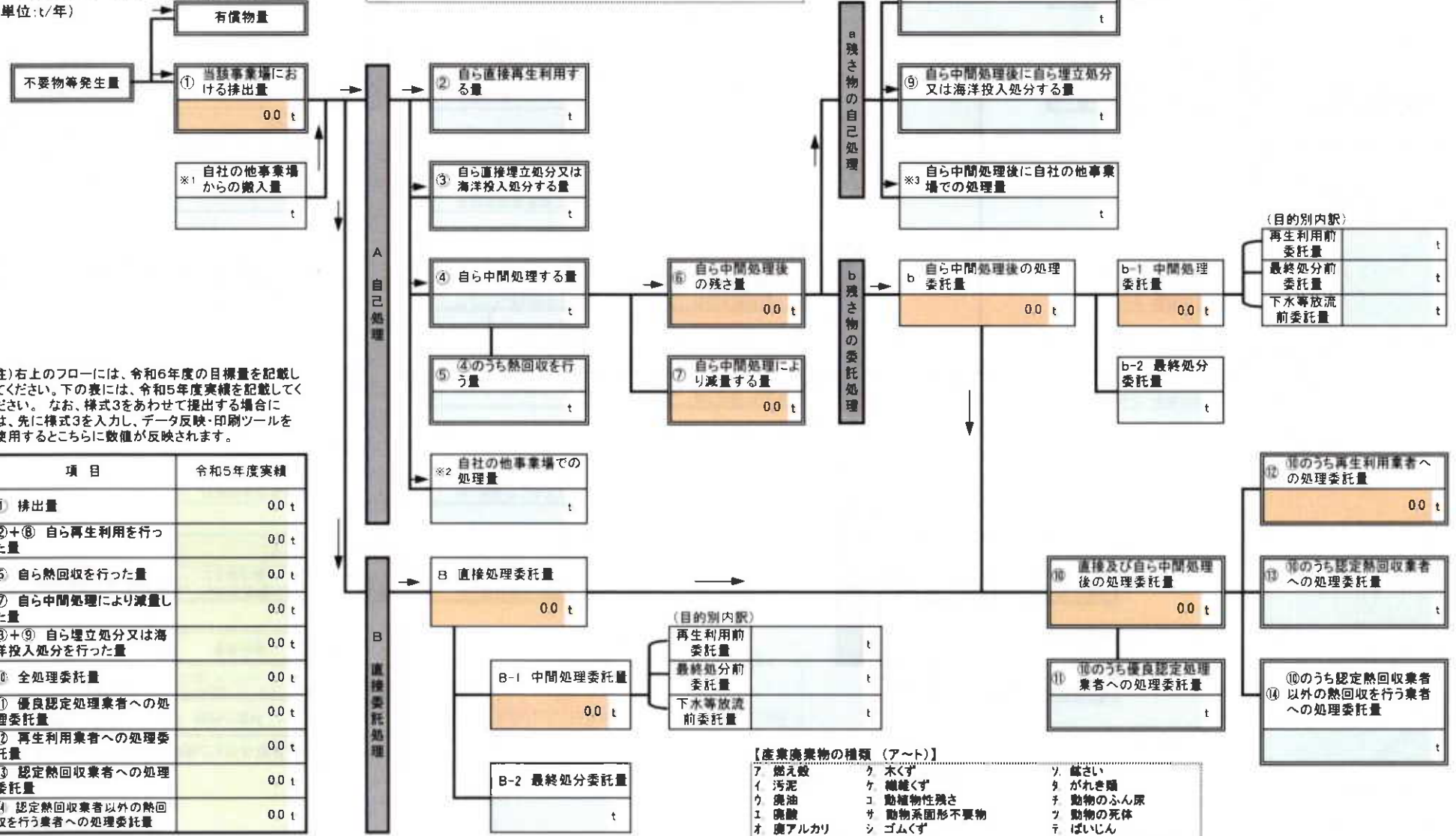
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
 子 動物のふん尿
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

「動物のふん尿」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
 【該当業種】畜産農業

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア 燃え殻	ク 木くず	ソ 塵さい
イ 汚泥	ケ 繊維くず	タ がれき類
ウ 廃油	コ 動植物性残さ	チ 動物のふん尿
エ 廃酸	サ 動物系固形不要物	ツ 動物の死体
オ 廃アルカリ	シ ゴムくず	テ ばいじん
カ 廃プラスチック類	ス 金属くず	ト 混合廃棄物その他
キ 紙くず	セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	

別紙処理フロー

事業場名称：京王建設株式会社

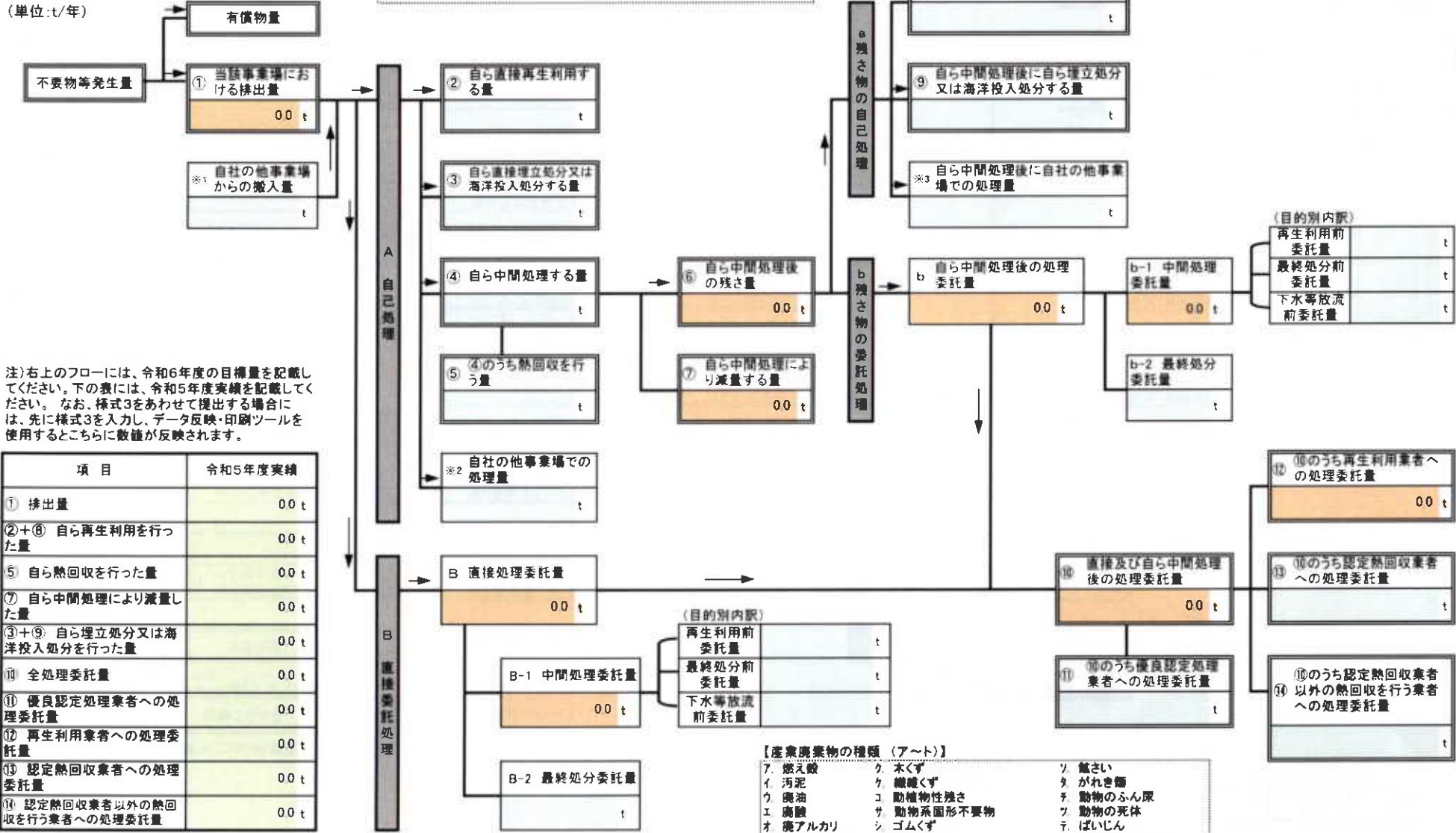
令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

「動物の死体」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】畜産農業



注)右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- | | | |
|------------|--------------------|------------|
| ア 燃え殻 | カ 木くず | リ 鉱さい |
| イ 汚泥 | ク 繊維くず | ラ がれき類 |
| ウ 廃油 | ク 動植物性残さ | リ 動物のふん尿 |
| エ 腐蝕 | サ 動物系固形不要物 | ル 動物の死体 |
| オ 廃アルカリ | シ ゴムくず | レ ばいじん |
| カ 廃プラスチック類 | ス 金属くず | ロ 混合廃棄物その他 |
| キ 紙くず | セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず | |

(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

⑫のうち再生利用業者への処理委託量

0.0 t

⑬のうち認定熱回収業者への処理委託量

t

⑭のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

t

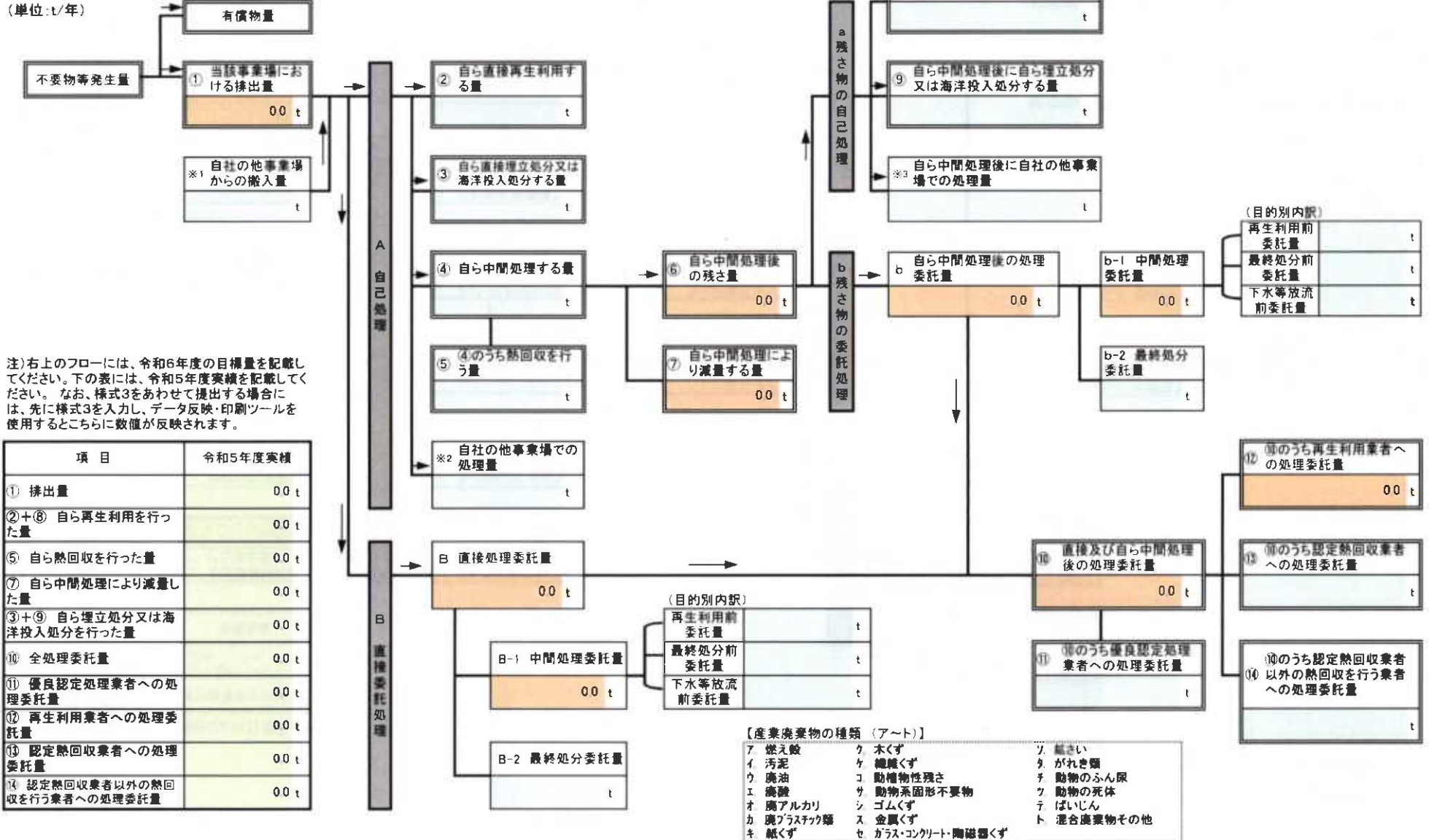
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	テ ばいじん
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	00 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t
⑩ 全処理委託量	00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	00 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t

事業場名称 : 京王建設株式会社

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- | | | |
|------------|--------------------|------------|
| ア 燃え殻 | ク 木くず | リ ぬい |
| イ 汚泥 | ケ 繊維くず | ル がれき類 |
| ウ 廃油 | コ 動物性残さ | ロ 動物のふん尿 |
| エ 廃酸 | サ 動物系固形不要物 | リ 動物の死体 |
| オ 廃アルカリ | シ ゴムくず | レ ばいじん |
| カ 廃プラスチック類 | ス 金属くず | ロ 混合廃棄物その他 |
| キ 紙くず | セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず | |

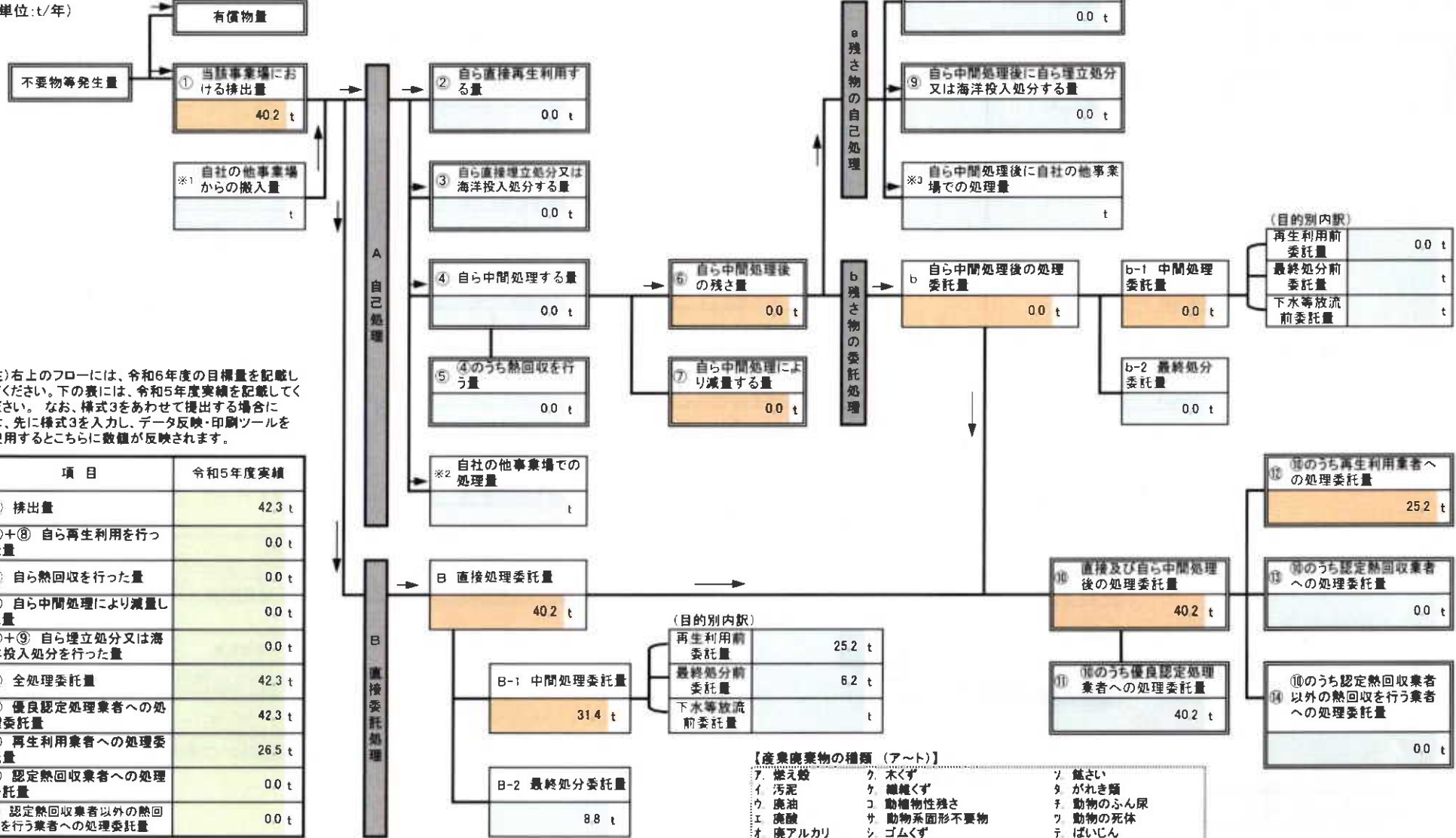
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類 ト. 混合廃棄物その他

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	42.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	42.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	42.3 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	26.5 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- | | | |
|-------------|---------------------|-------------|
| ア. 燃え殻 | ク. 木くず | ソ. 鉱さい |
| イ. 汚泥 | ケ. 繊維くず | タ. がれき類 |
| ウ. 廃油 | コ. 動植物性残さ | チ. 動物のふん尿 |
| エ. 廃酸 | サ. 動物系固形不要物 | ツ. 動物の死体 |
| オ. 廃アルカリ | シ. ゴムくず | テ. ばいじん |
| カ. 廃プラスチック類 | ス. 金属くず | ト. 混合廃棄物その他 |
| キ. 紙くず | セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず | |

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

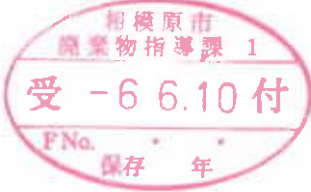
令和6年5月24日

相模原市長 殿

提出者

住所 東京都府中市府中町2丁目1番地の14

氏名 京王建設株式会社
代表取締役社長 高山 恒明
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 042-336-7300



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	京王建設株式会社	自主管理事業登録番号	
事業場の所在地	東京都府中市府中町2丁目1番地の14	TEL(連絡先):	042-336-7300
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	D-建設業 (具体的には) 06:総合工事業		
② 事業の規模 <small>※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。</small>	製造業	製造品出荷額	百万円/年
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円/年
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円/年
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
令和五年度 完成工事高 23,258百万円			
③ 従業員数	391人		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,698.5 t	全処理委託量	3,698.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	97.6 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3,683.6 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理	0 t
※ 事務処理欄			

備考

- 1 当該年度(令和6年度)の6月30日までに提出してください。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、前年度(令和5年度)提出の産業廃棄物処理計画に記載した目標量を記入してください。
- 4 第2面(様式3-2)には、前年度(令和5年度)の産業廃棄物処理実績に関して①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入してください。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面(様式3-2)の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入してください。
- 6 第1面の※欄には、何も記入しないでください。

別紙処理フロー

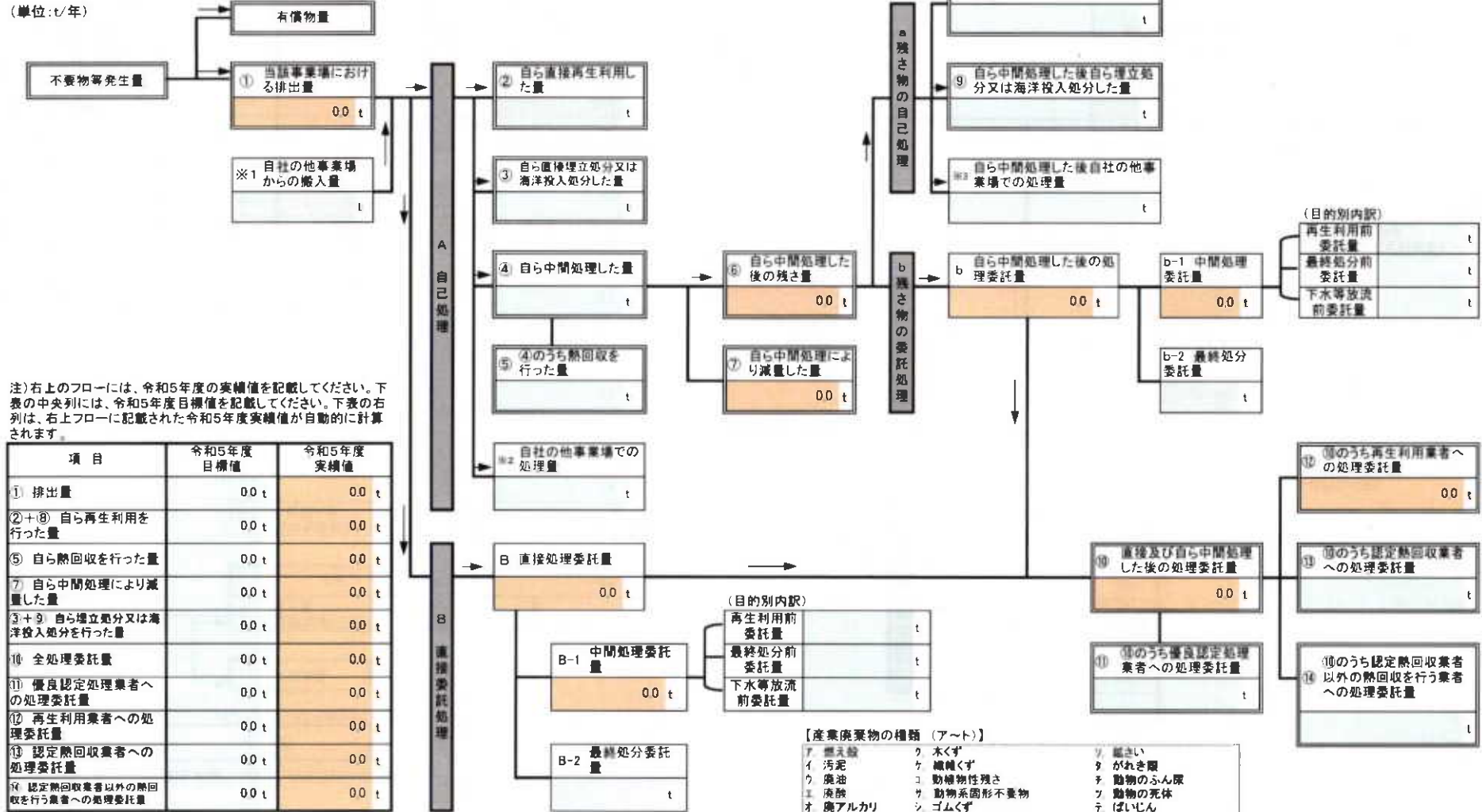
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ア 燃え殻
------------------	-------

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



(※2面)

- 【産業廃棄物の種類 (ア-ツ)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 炭油
 - エ 炭酸
 - オ 炭アルカリ
 - カ 炭プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 木くず
 - ケ 繊維くず
 - コ 動物性残さ
 - ク 動物系固形不量物
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ 紙さい
 - タ がれき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

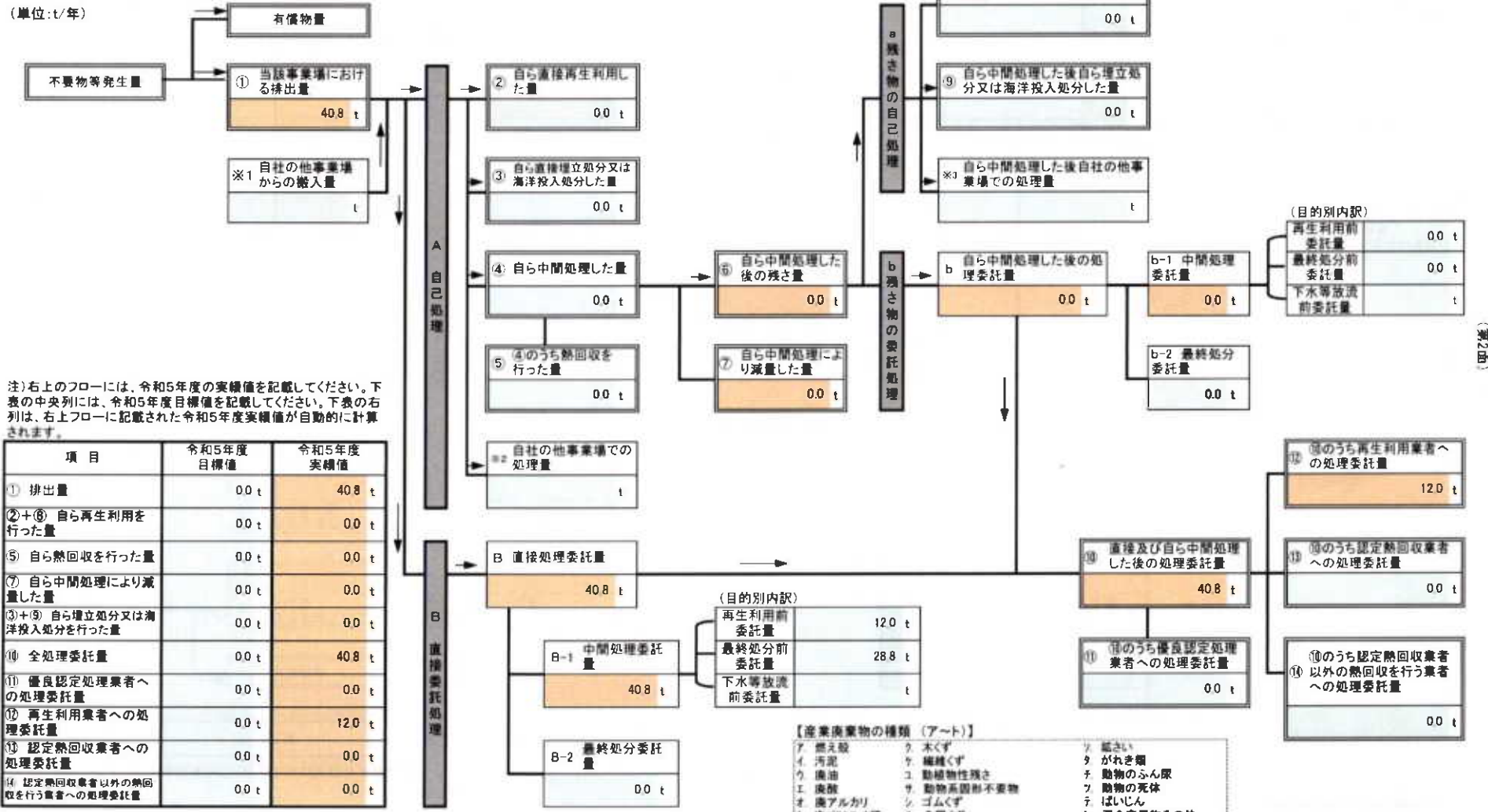
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 **イ. 汚泥**

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	0.0 t	40.8 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	40.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t	12.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 無え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃酸
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 木くず
 - ク 繊維くず
 - コ 動物性残渣
 - カ 金属
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・セラミックス・陶磁器くず
 - ソ 紙くず
 - タ がれき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

(業2画)

別紙処理フロー

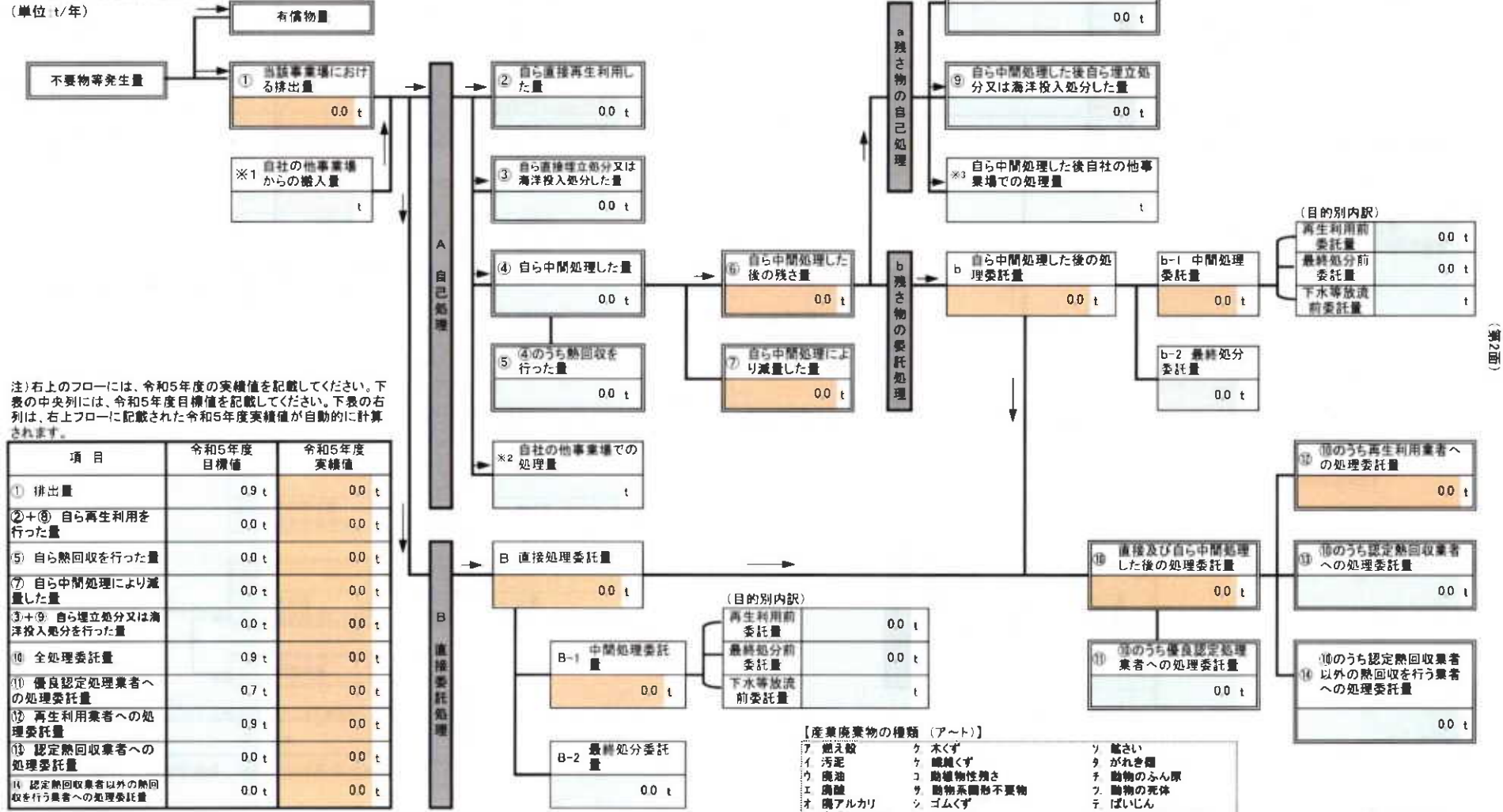
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ウ 廃油
------------------	------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	09 t	00 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	00 t	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t	00 t
⑩ 全処理委託量	09 t	00 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	07 t	00 t
⑪ 再生利用業者への処理委託量	09 t	00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t	00 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア 燃え殻	ク 木くず	ソ 酸さい
イ 汚泥	ケ 繊維くず	タ がれき類
ウ 廃油	コ 動植物性残さ	チ 動物のふん尿
エ 廃酸	ク 動物系固形不要物	ツ 動物の死体
オ 廃アルカリ	シ ゴムくず	テ ばいじん
カ 廃プラスチック類	ス 金属くず	ト 混合廃棄物その他
キ 紙くず	セ 珪藻土・珪酸塩くず	

別紙処理フロー

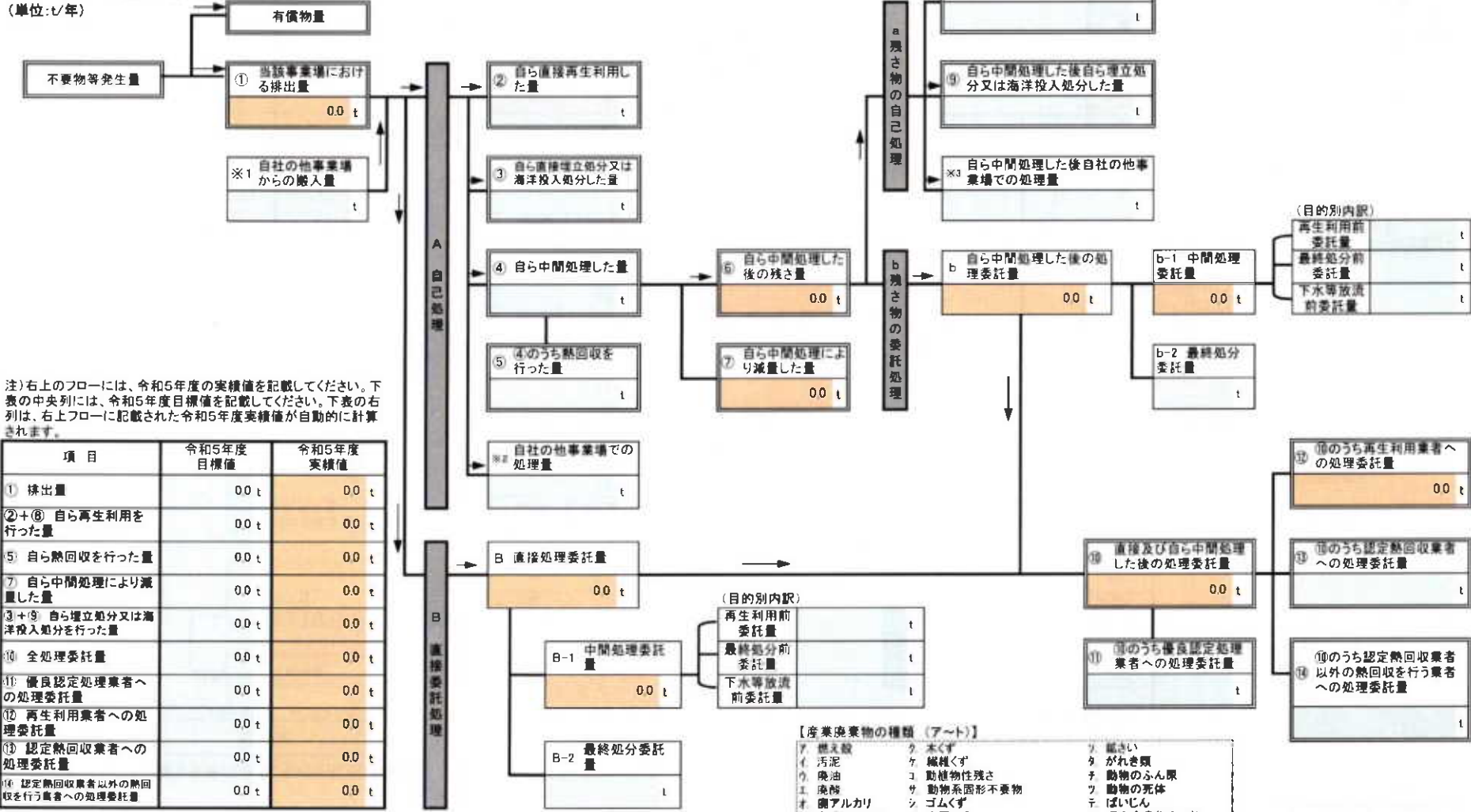
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	工 廃酸
------------------	------

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	00 t	00 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	00 t	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t	00 t
⑩ 全処理委託量	00 t	00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	00 t	00 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	00 t	00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t	00 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア 燃え殻	カ 木くず	タ 紙くず
イ 汚泥	ケ 繊維くず	チ がれき類
ウ 廃油	コ 動植物性残さ	ツ 動物のふん尿
エ 廃酸	ク 動物系固形不棄物	テ 動物の死体
オ 固アルカリ	シ ゴムくず	ト ばいじん
カ プラスチック類	ス 金属くず	ト 混合廃棄物その他
キ 紙くず	セ ガラス・セラミックス類	

(第2図)

別紙処理フロー

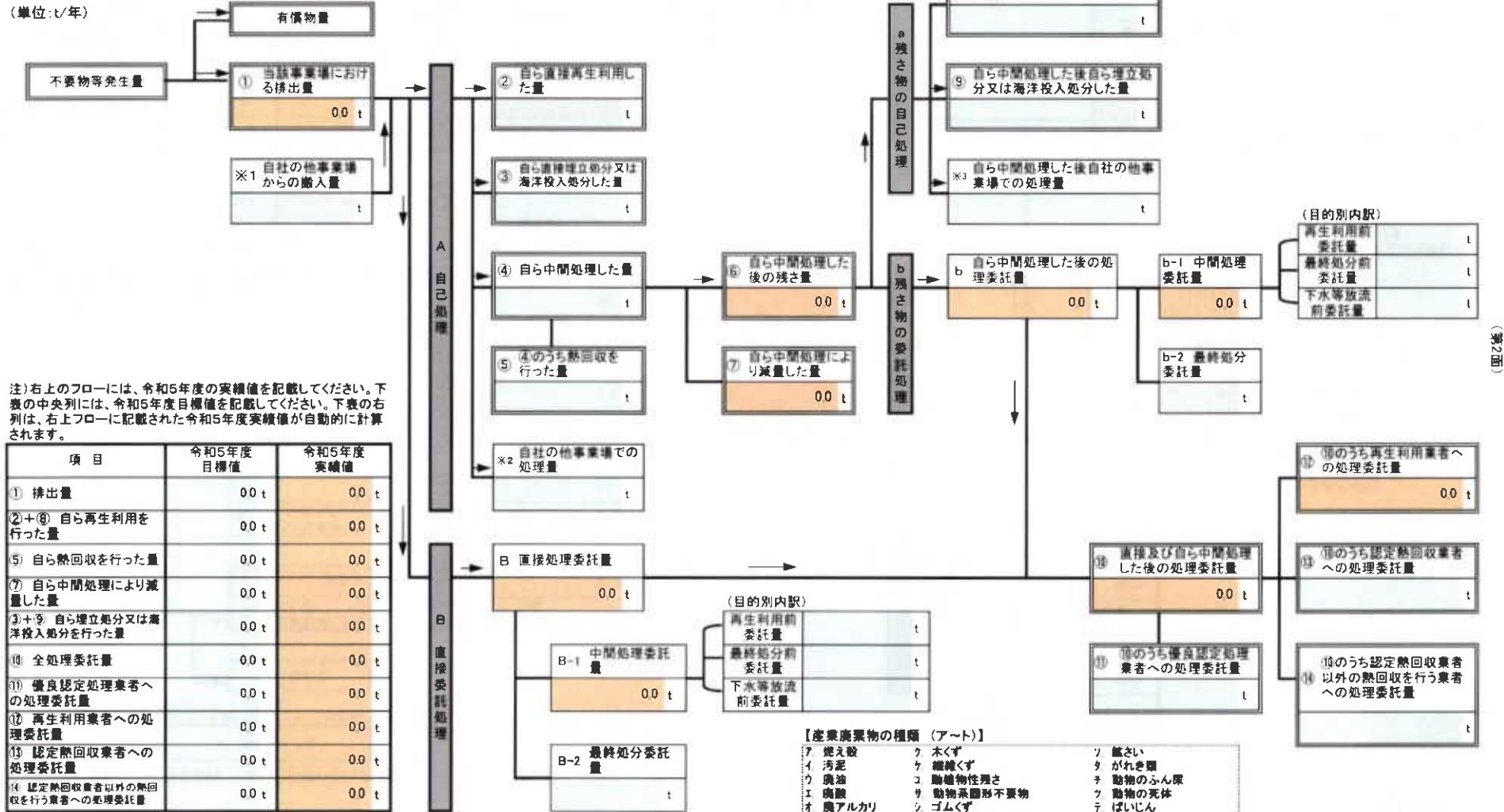
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	オ 廃アルカリ
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	00 t	00 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	00 t	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t	00 t
⑩ 全処理委託量	00 t	00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	00 t	00 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	00 t	00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t	00 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア 燃え殻	ク 木くず	リ 紙さい
イ 汚泥	ケ 繊維くず	タ がれき類
ウ 廃油	コ 動物性残渣	チ 動物のふん尿
エ 廃酸	サ 動物系固形不燃物	ツ 動物の死体
オ 廃アルカリ	シ ゴムくず	テ ばいじん
カ 廃プラスチック類	ス 金属くず	ト 混合廃棄物その他
キ 紙くず	セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	

(第2面)

別紙処理フロー

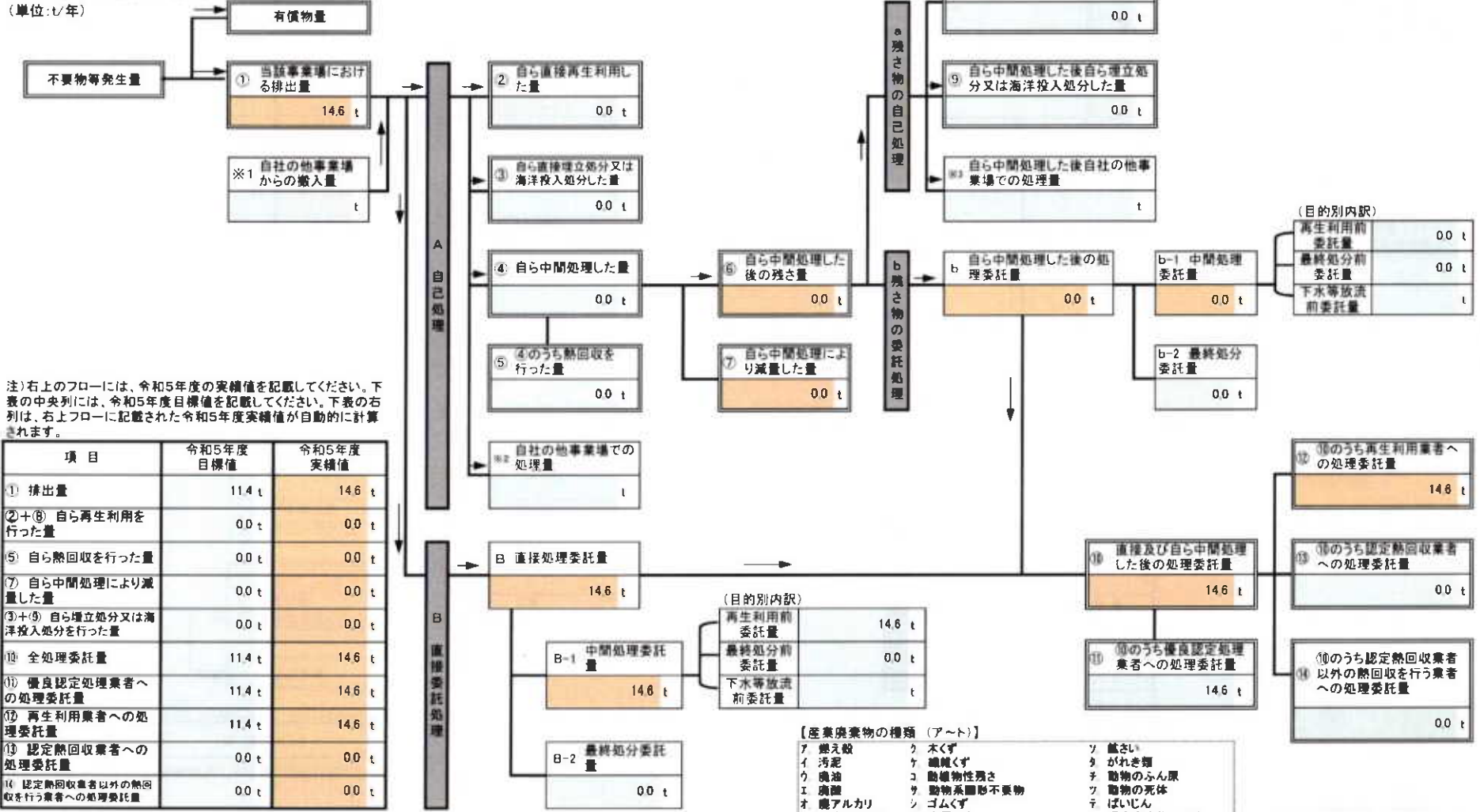
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	カ 廃プラスチック類
------------------	------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	114 t	146 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	00 t	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t	00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t	00 t
⑩ 全処理委託量	114 t	146 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	114 t	146 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	114 t	146 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t	00 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- | | | |
|------------|------------------|------------|
| ア 燃え殻 | ク 木くず | ソ 紙さい |
| イ 汚泥 | ケ 織物くず | タ がれき類 |
| ウ 廃油 | コ 動物性汚さ | チ 動物のふん尿 |
| エ 廃液 | ク 動物系固形不棄物 | ツ 動物の死体 |
| オ 廃アルカリ | シ ゴムくず | テ はいじん |
| カ 廃プラスチック類 | ス 金属くず | ト 混合廃棄物その他 |
| キ 紙くず | セ 3A-コンクリート陶磁器くず | |

別紙処理フロー

事業場名称 京王建設株式会社

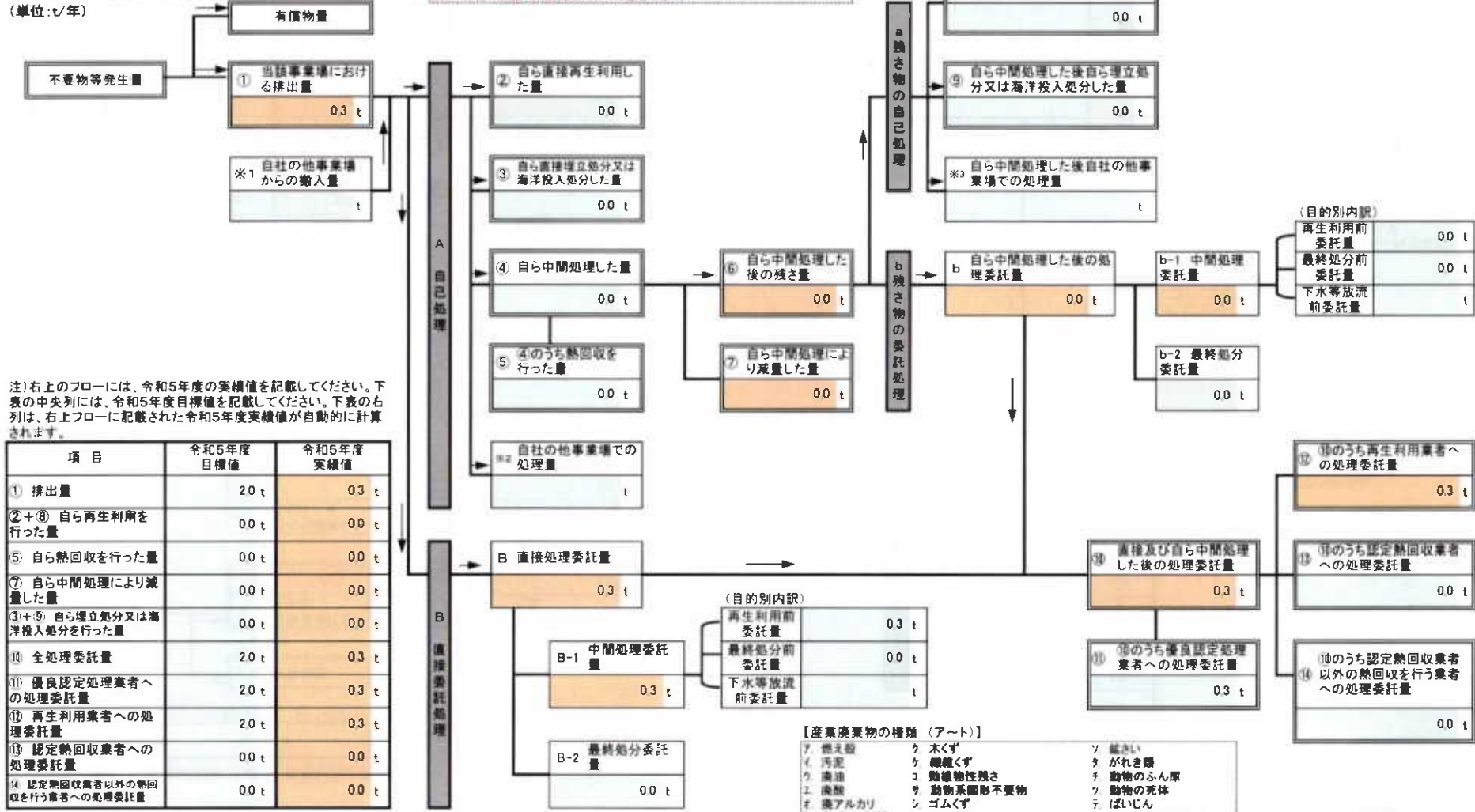
令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 キ 紙くず

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

紙くずには軍種指定があり、該当軍種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当軍種】バルブ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業（新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うもの）、出版業（印刷出版を行うもの）、製本業、印刷物加工業、建設業（工作物の新築、改装、除去に伴って生じたもの）

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	20 t	03 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	00 t	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t	00 t
③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t	00 t
⑩ 全処理委託量	20 t	03 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	20 t	03 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	20 t	03 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t	00 t

【産業廃棄物の種類 (A~T)】

ア 燃え殻	ク 木くず	ソ 紙くず
イ 汚泥	ケ 繊維くず	タ がれき類
ウ 廃油	コ 動物性残渣	チ 動物のふん尿
エ 廃酸	サ 動物系厨形不要物	ツ 動物の死体
オ 廃アルカリ	シ ゴムくず	テ ばいじん
カ 廃プラスチック類	ス 金属くず	ト 混合廃棄物その他
キ 紙くず	セ ミクス・コンクリート・陶磁器くず	

別紙処理フロー

事業場名称 : 京王建設株式会社

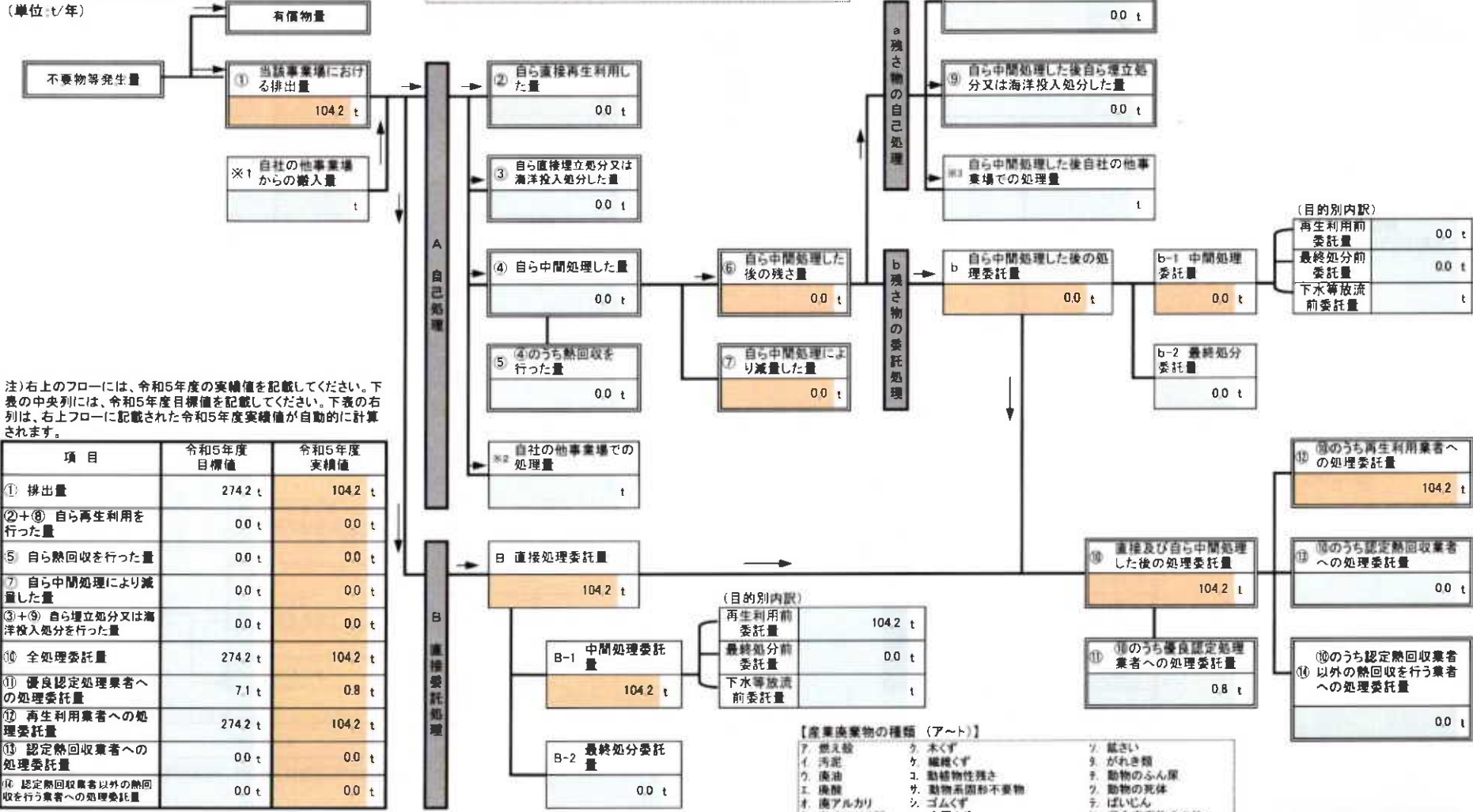
令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 **ク 木くず**

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとの記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

【木くず】には専焼指定等があり、該当事項以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
 【該当廃種】木材又は木製品の製造廃(家具製造業を含む)、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品買取業に係るもの、建設業(工作物の新築、改修、除去に伴って生じたもの)。
 【全業種対象】貨物の流通のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材を含む。)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	2742 t	1042 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑥ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2742 t	1042 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	7.1 t	0.8 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2742 t	1042 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃酸
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 木くず
 - ケ 繊維くず
 - コ 動植物性残さ
 - サ 動物系固形不燃物
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ 鉱さい
 - タ がれき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

事業場名称 : 京王建設株式会社

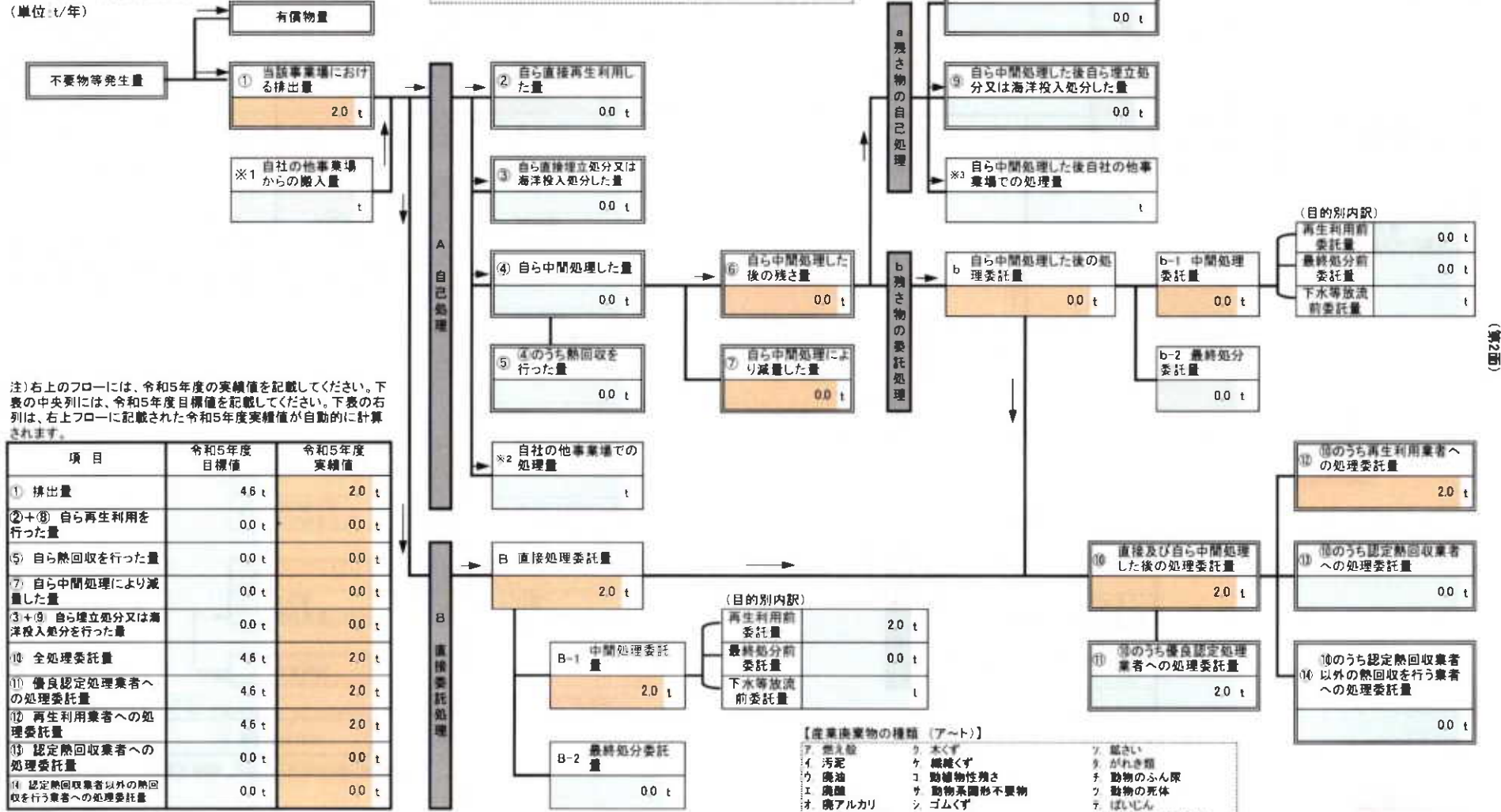
令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 ケ. 繊維くず

「繊維くず」には重量指定があり、該当重量以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
 【該当業種】繊維工業(衣服その他の繊維製品製造業を除く)、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	46 t	20 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	46 t	20 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	46 t	20 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	46 t	20 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア. 燃え殻	ウ. 汚泥	ク. 木くず	フ. 磁さい
イ. 汚泥	エ. 炭酸	ケ. 繊維くず	ク. がれき類
ウ. 廃油	オ. 廃アルカリ	コ. 動物性残さ	チ. 動物のふん尿
エ. 炭酸	カ. 廃プラスチック類	サ. 動物系固形不要物	ツ. 動物の死体
オ. 廃アルカリ	キ. 紙くず	シ. ゴムくず	テ. はいじん
カ. 廃プラスチック類	ク. 紙くず	ス. 金属くず	ト. 混合廃棄物その他
キ. 紙くず	ケ. ガラス・珪藻土・陶磁器くず	セ. ガラス・珪藻土・陶磁器くず	

別紙処理フロー

事業場名称 : 京王建設株式会社

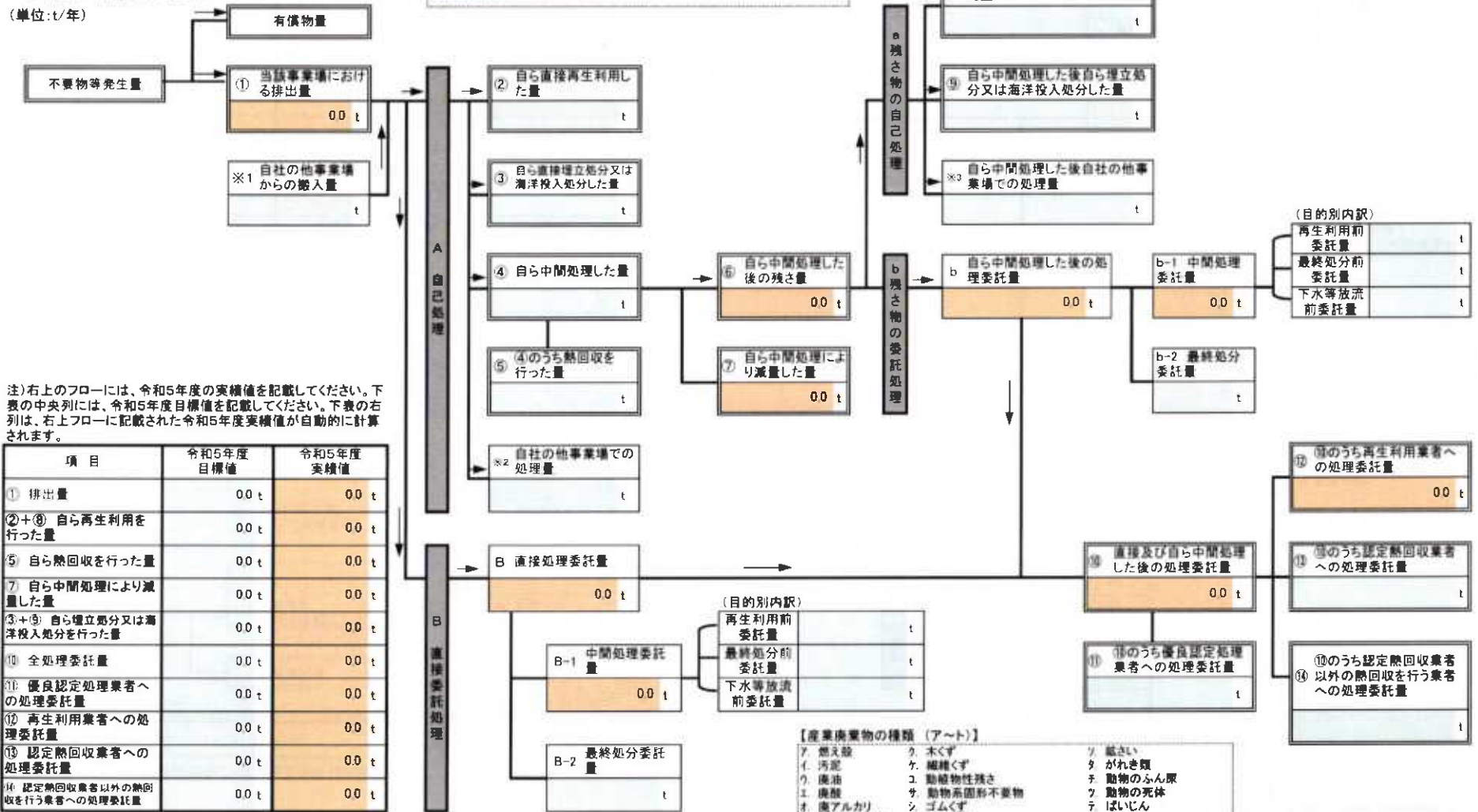
令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 **コ 動物物性残さ**

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

「動物物性残さ」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】食料品製造業、医薬品製造業、香料製造業において原料として使用した動物又は植物の固形状の不要物

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	00 t	00 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	00 t	00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	00 t	00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	00 t	00 t
③+⑥ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	00 t	00 t
⑩ 全処理委託量	00 t	00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	00 t	00 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	00 t	00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	00 t	00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	00 t	00 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃酸
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 木くず
 - ケ 繊維くず
 - コ 動物物性残さ
 - カ 動物系固形不要物
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ 紙さい
 - タ がれき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ はいじん
 - ト 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

事業場名称：京王建設株式会社

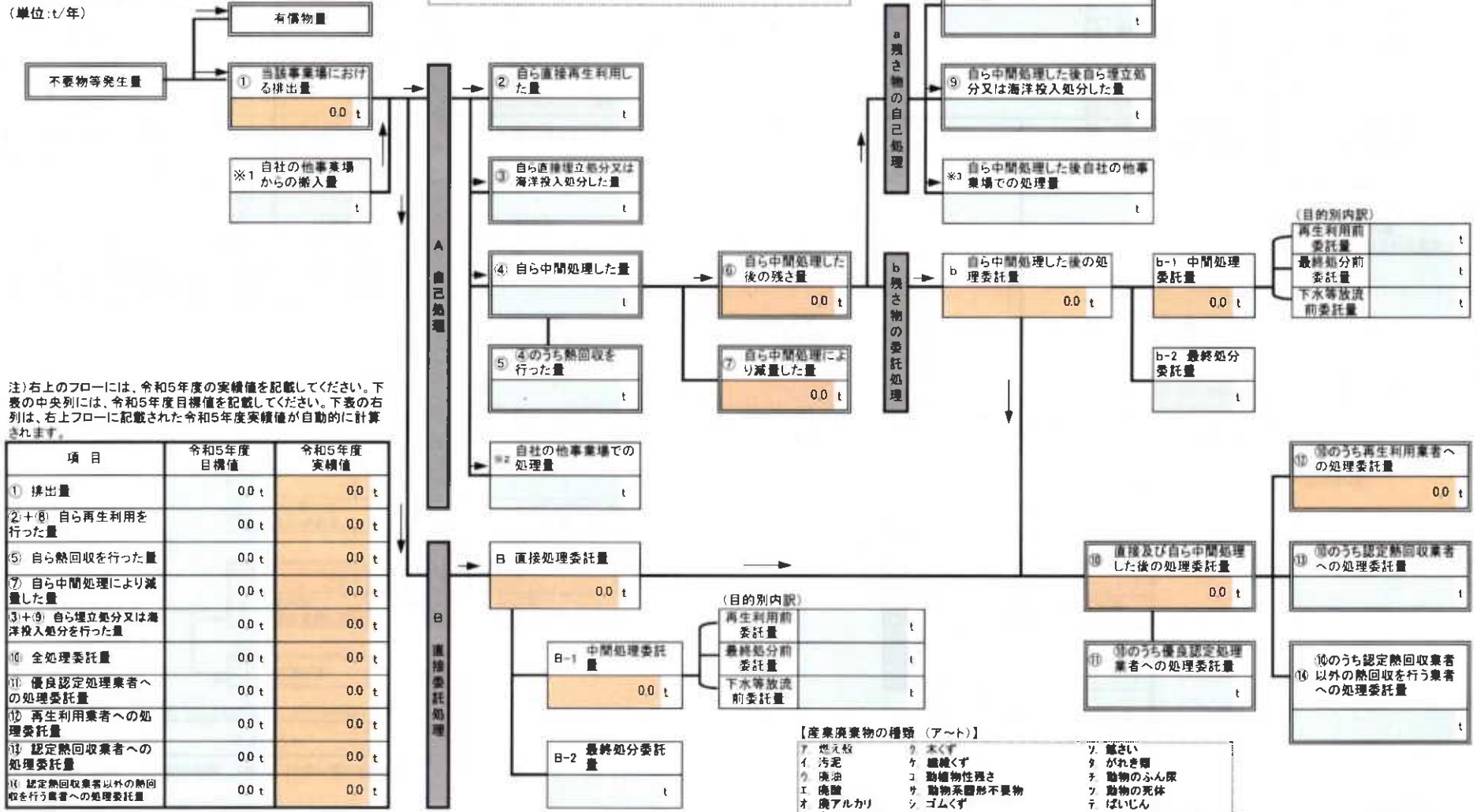
令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 サ 動物系固形不棄物

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

「動物系固形不棄物」には棄種指定があり、該当棄種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
 【該当棄種】と畜場においてとつし、又は解体した獣畜及び食鳥処理場において食鳥処理した食鳥に係る固形状の不棄物



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|------|------|---------|------------|-------|-------|--------|---------|------------|--------|-------|--------|----------|---------|--------|------------|
| ア 燃え殻 | イ 汚泥 | ク 廃油 | ケ 廃酸 | コ 廃アルカリ | カ 廃プラスチック類 | キ 燃やす | ク 木くず | ケ 繊維くず | コ 動物性脂肪 | ク 動物系固形不棄物 | カ 金属くず | キ 雑さい | ク がれき類 | ケ 動物のふん尿 | コ 動物の死体 | カ ばいじん | キ 混合廃棄物その他 |
|-------|------|------|------|---------|------------|-------|-------|--------|---------|------------|--------|-------|--------|----------|---------|--------|------------|

別紙処理フロー

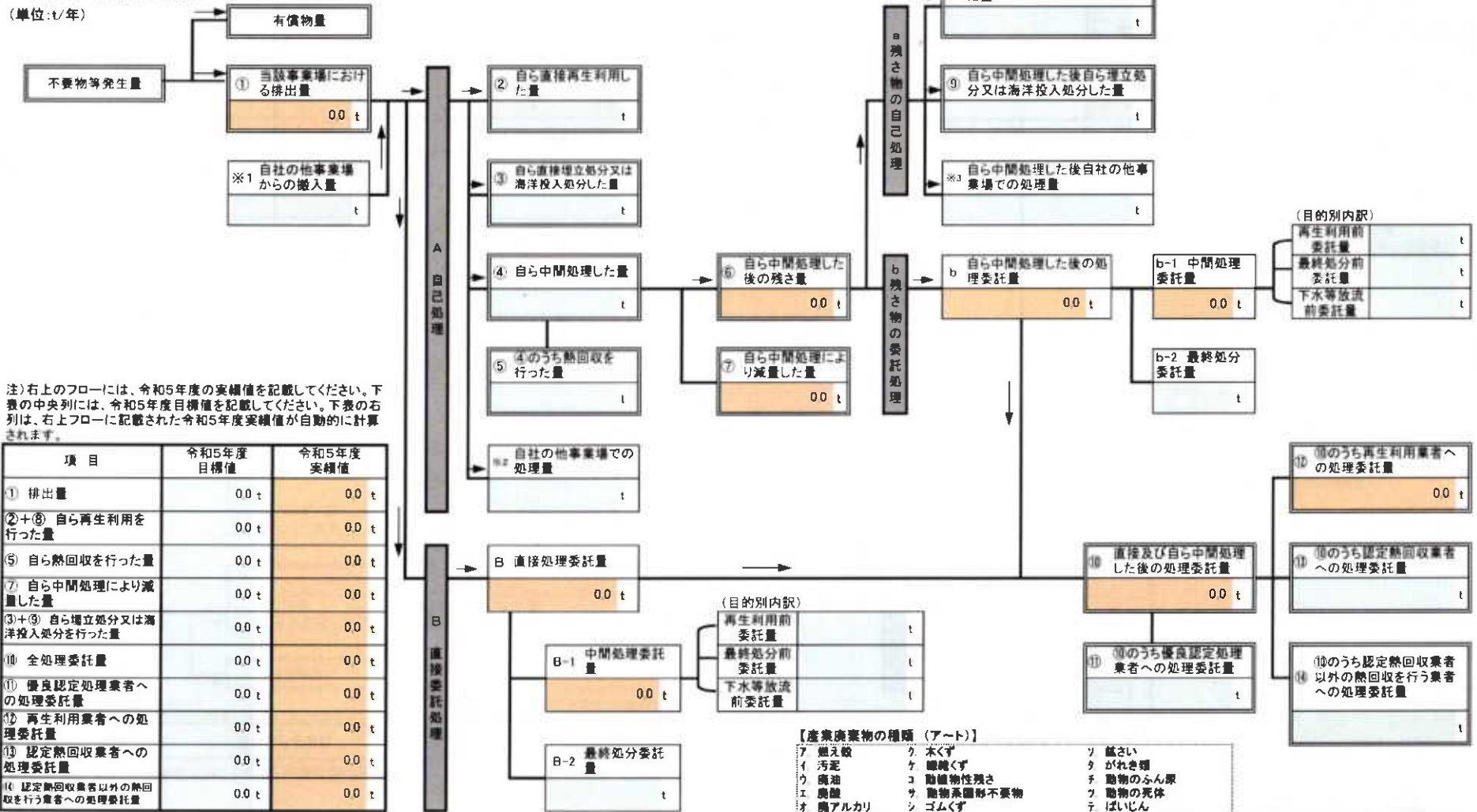
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 **シ: ゴムくず**

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃酸
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 木くず
 - ケ 繊維くず
 - コ 動植物性残さ
 - サ 動物系固形不要物
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ 繊維くず
 - タ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - リ 灰塵
 - タ がいき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

事業場名称 京王建設株式会社

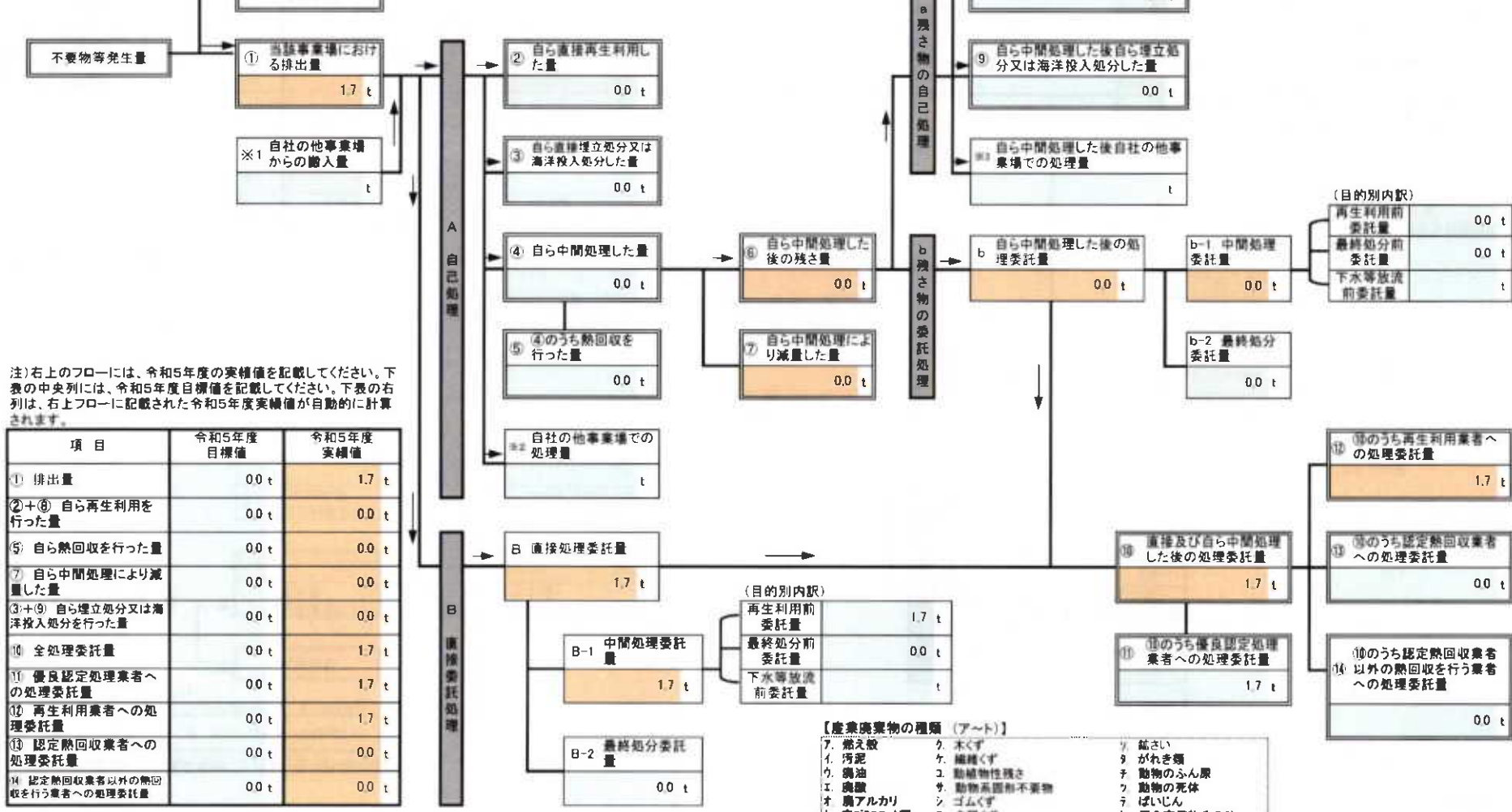
別紙処理フロー

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ス、金属くず
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度目標値	令和5年度実績値
① 排出量	0.0 t	1.7 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	1.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	1.7 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t	1.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- | | | |
|-------------|---------------------|-------------|
| ア. 燃え殻 | ク. 木くず | リ. 鉱さい |
| イ. 汚泥 | ケ. 繊維くず | ロ. がれき類 |
| ウ. 廃油 | コ. 動植物性残さ | チ. 動物のふん尿 |
| エ. 廃酸 | サ. 動物高固形不棄物 | ツ. 動物の死体 |
| オ. 廃アルカリ | シ. ゴムくず | テ. ばいじん |
| カ. 廃プラスチック類 | ス. 金属くず | ト. 混合廃棄物その他 |
| キ. 紙くず | セ. ガラス・セラミックス・陶磁器くず | |

事業場名称 : 京王建設株式会社

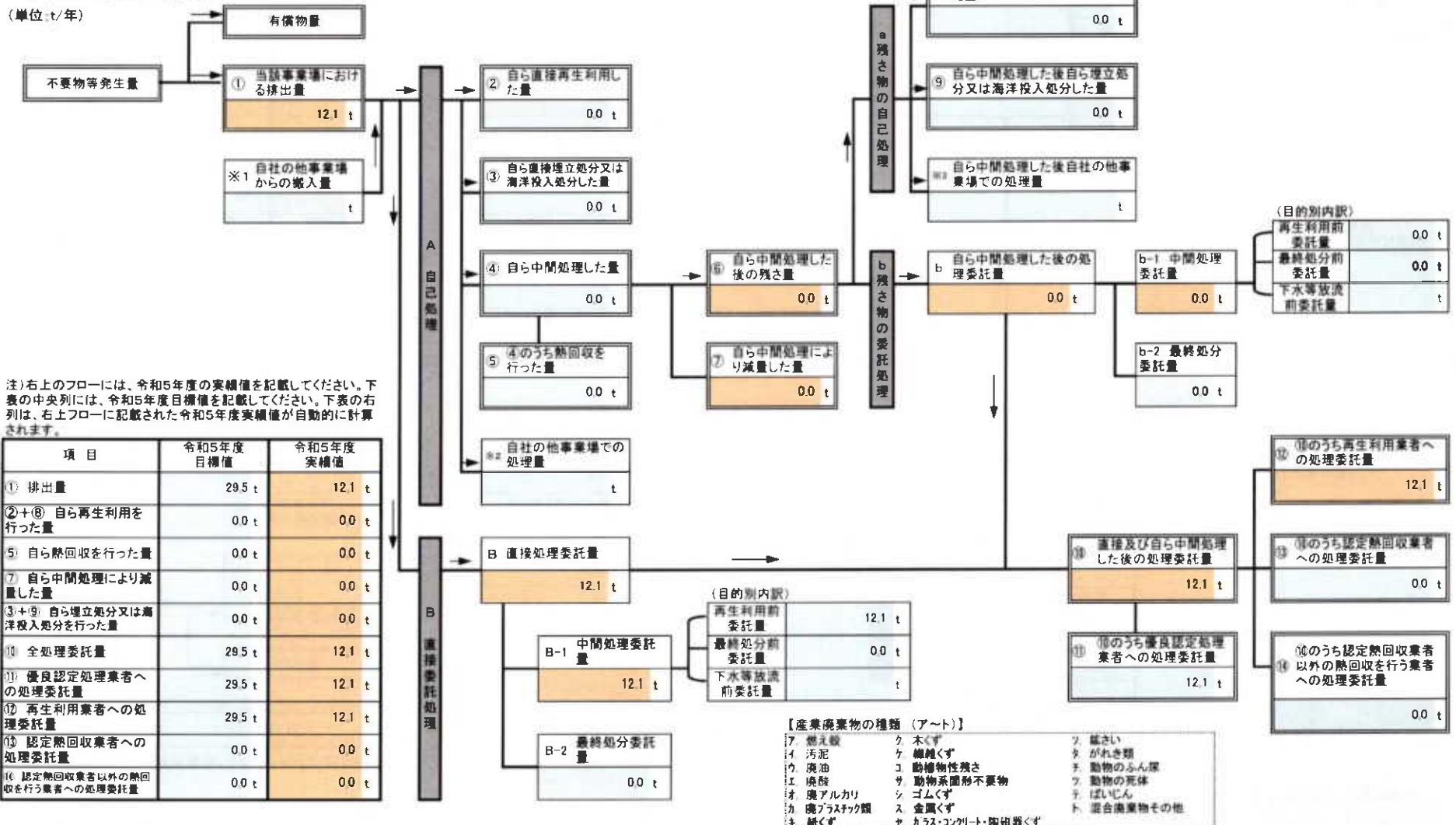
別紙処理フロー

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 **セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず**

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記録となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



事業場名称 : 京王建設株式会社

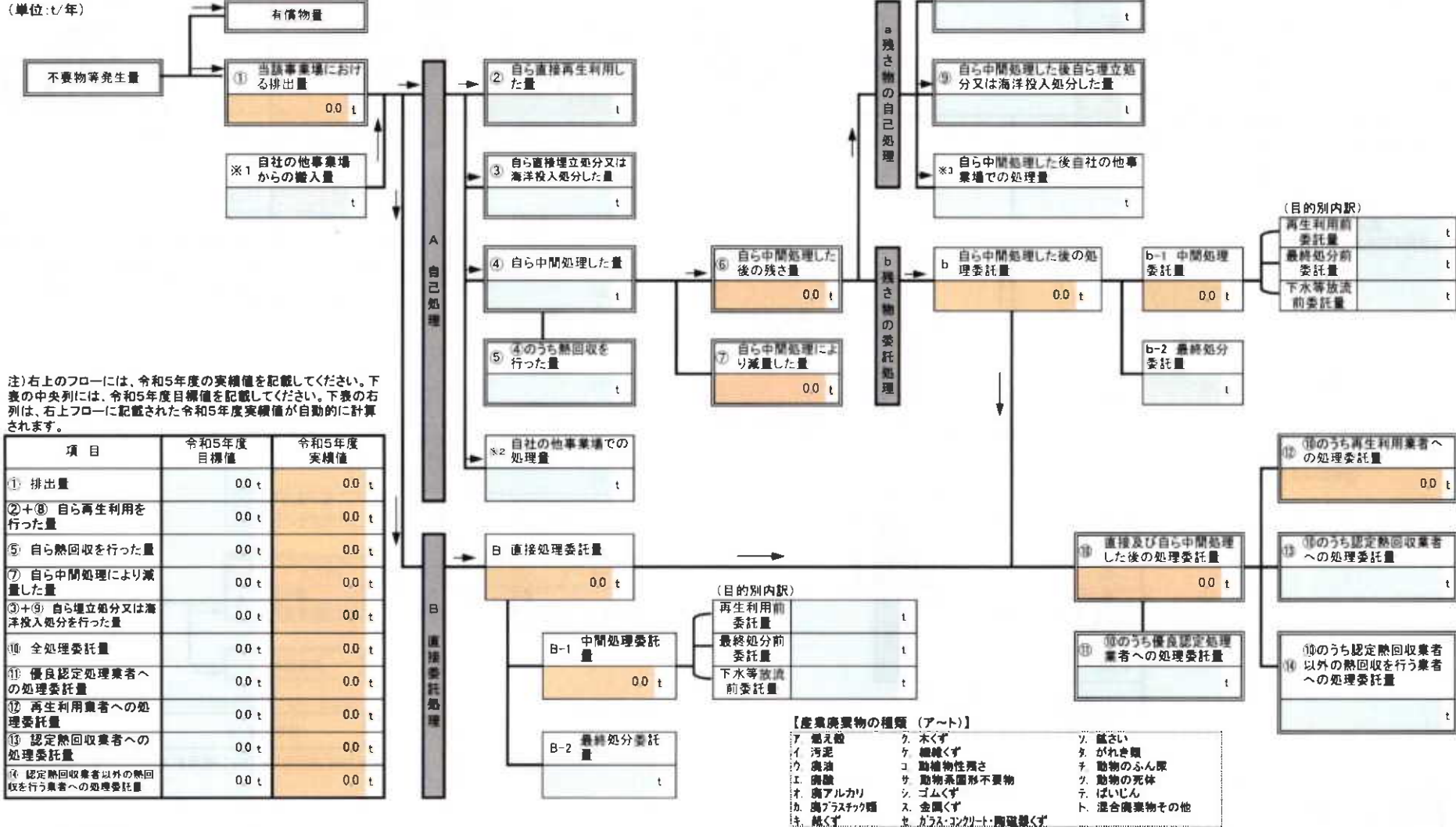
別紙処理フロー

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 ソ 紙さい

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



別紙処理フロー

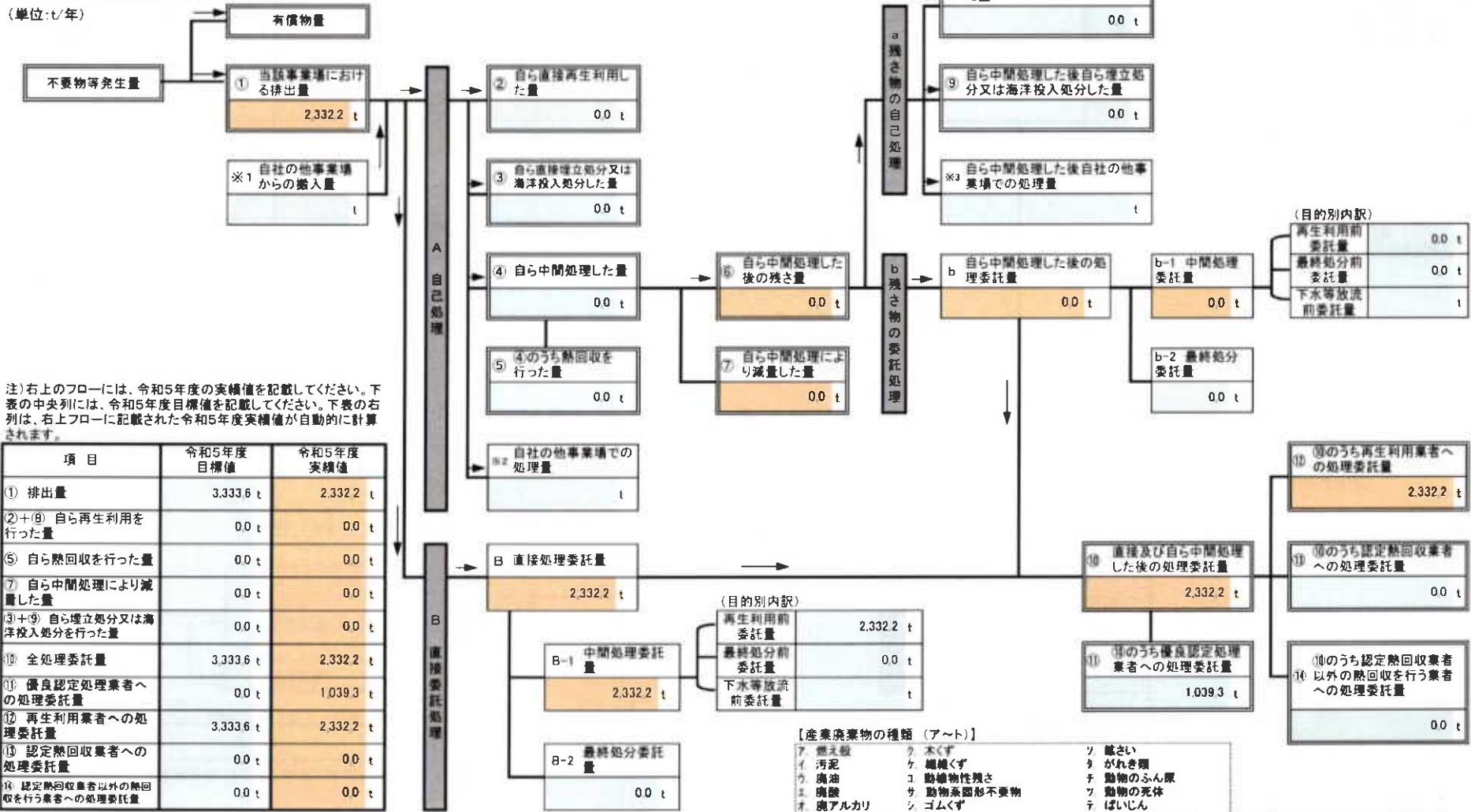
事業場名称 : 京王建設株式会社

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	タ、がれき類
------------------	--------

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



別紙処理フロー

事業場名称 京王建設株式会社

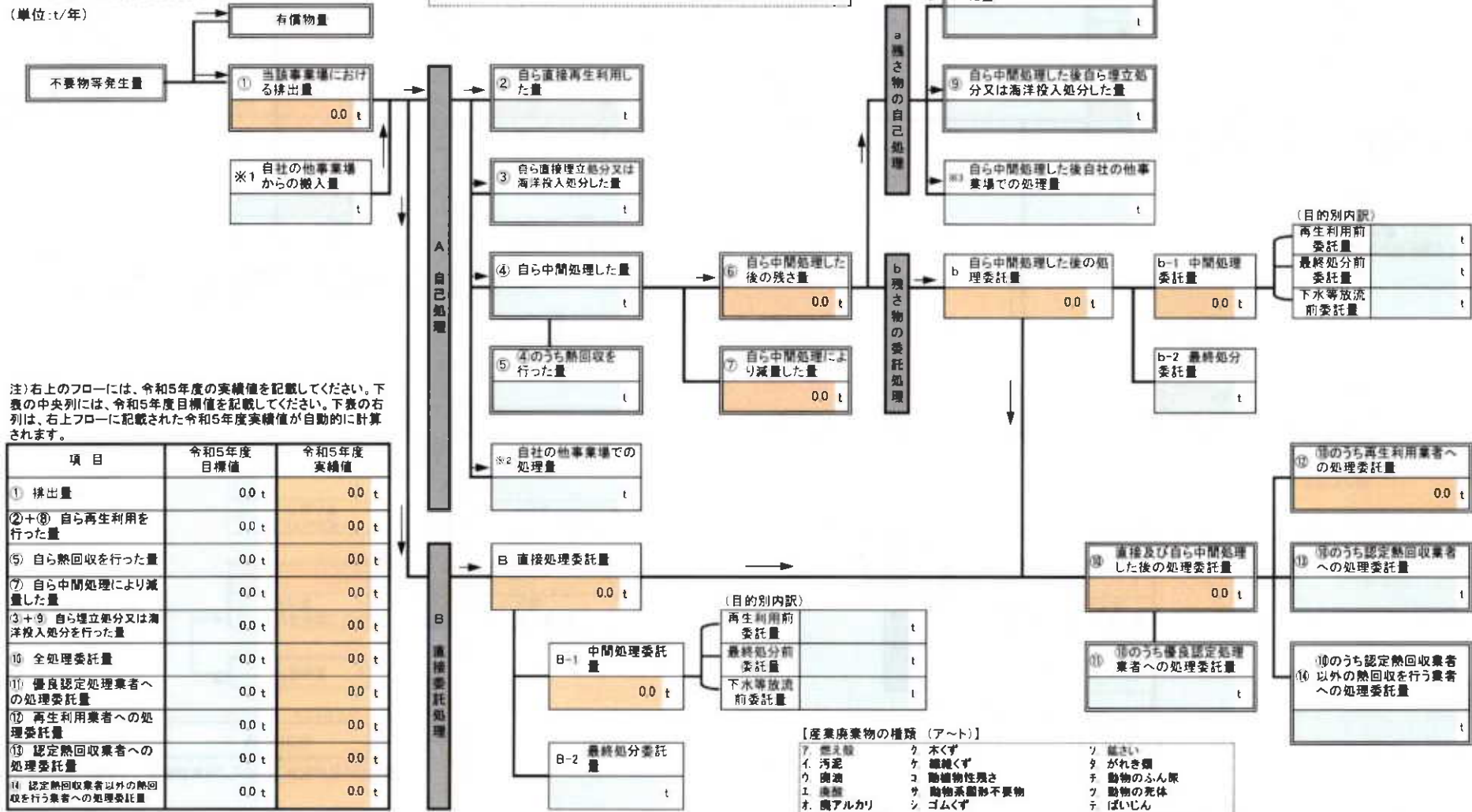
令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 **チ、動物のふん尿**

「動物のふん尿」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】畜産農業

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃薬
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - ク 木くず
 - ケ 繊維くず
 - コ 動物性残さ
 - ク 動物系固形不燃物
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ 紙くず
 - ソ 紙さい
 - タ がれき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

事業場名称 : 京王建設株式会社

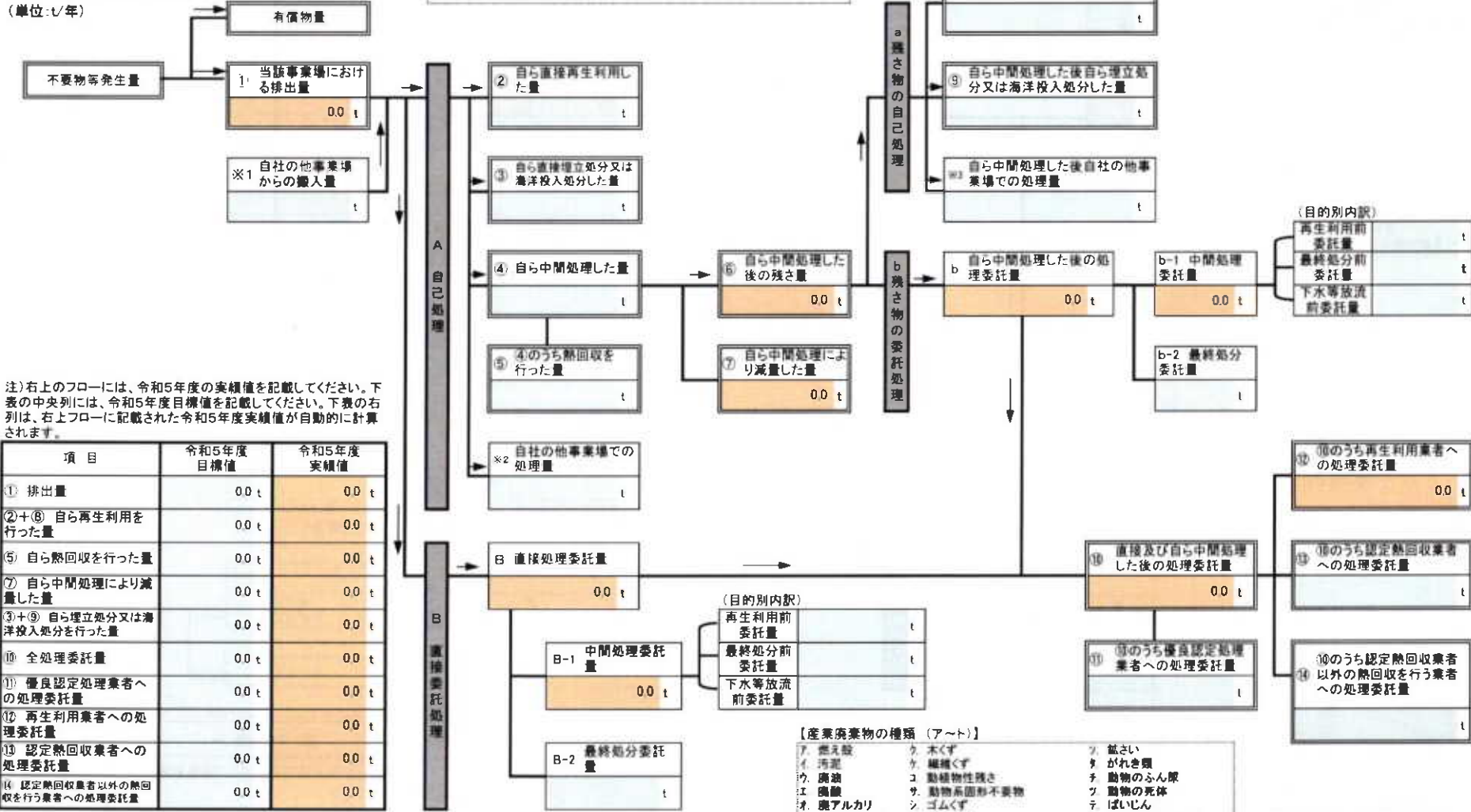
令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 **ツ 動物の死体**

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとの記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

【動物の死体】には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】畜産農産



事業場名称 : 京王建設株式会社

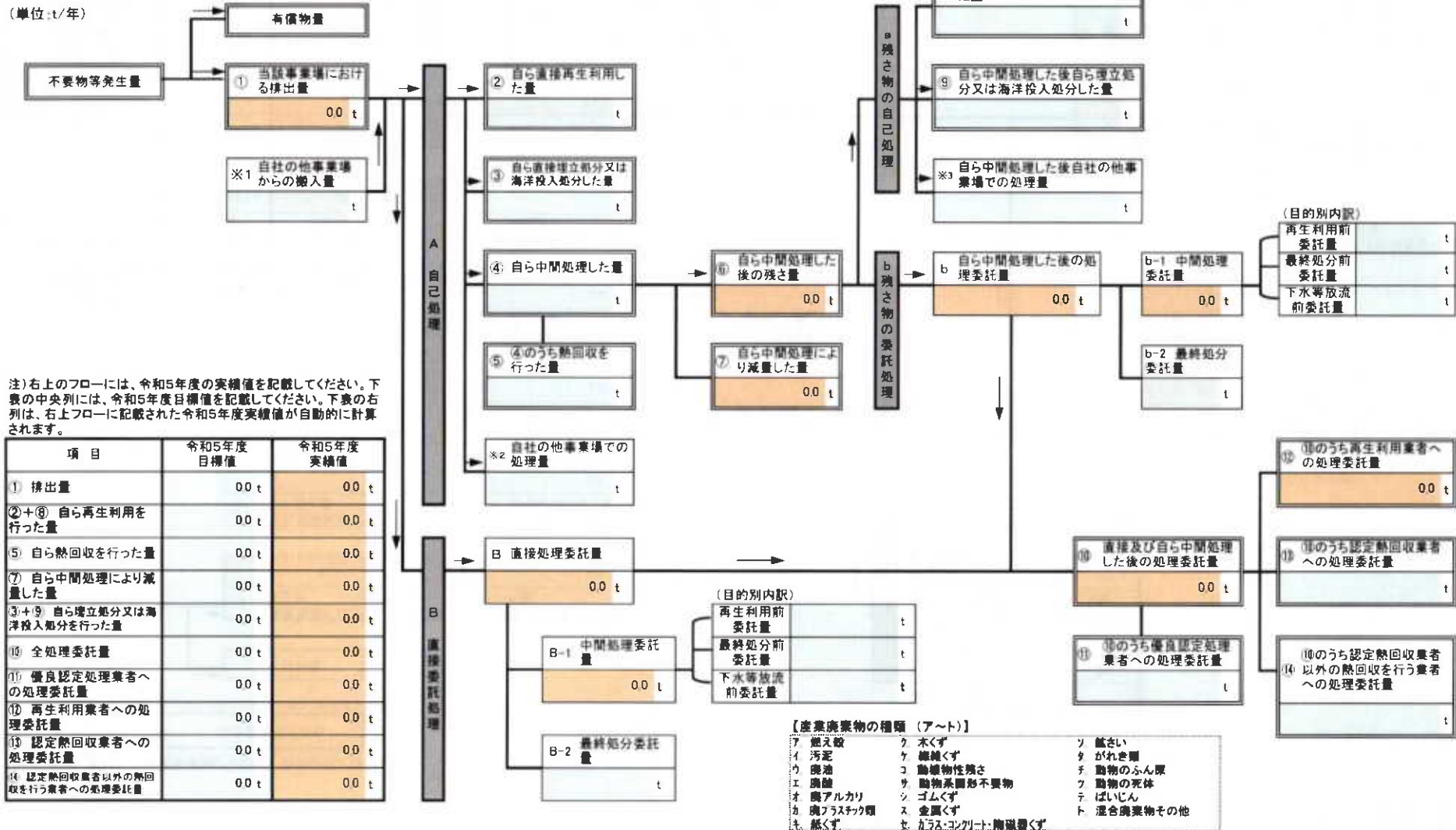
別紙処理フロー

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	テ ばいじん
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



(第2面)

別紙処理フロー

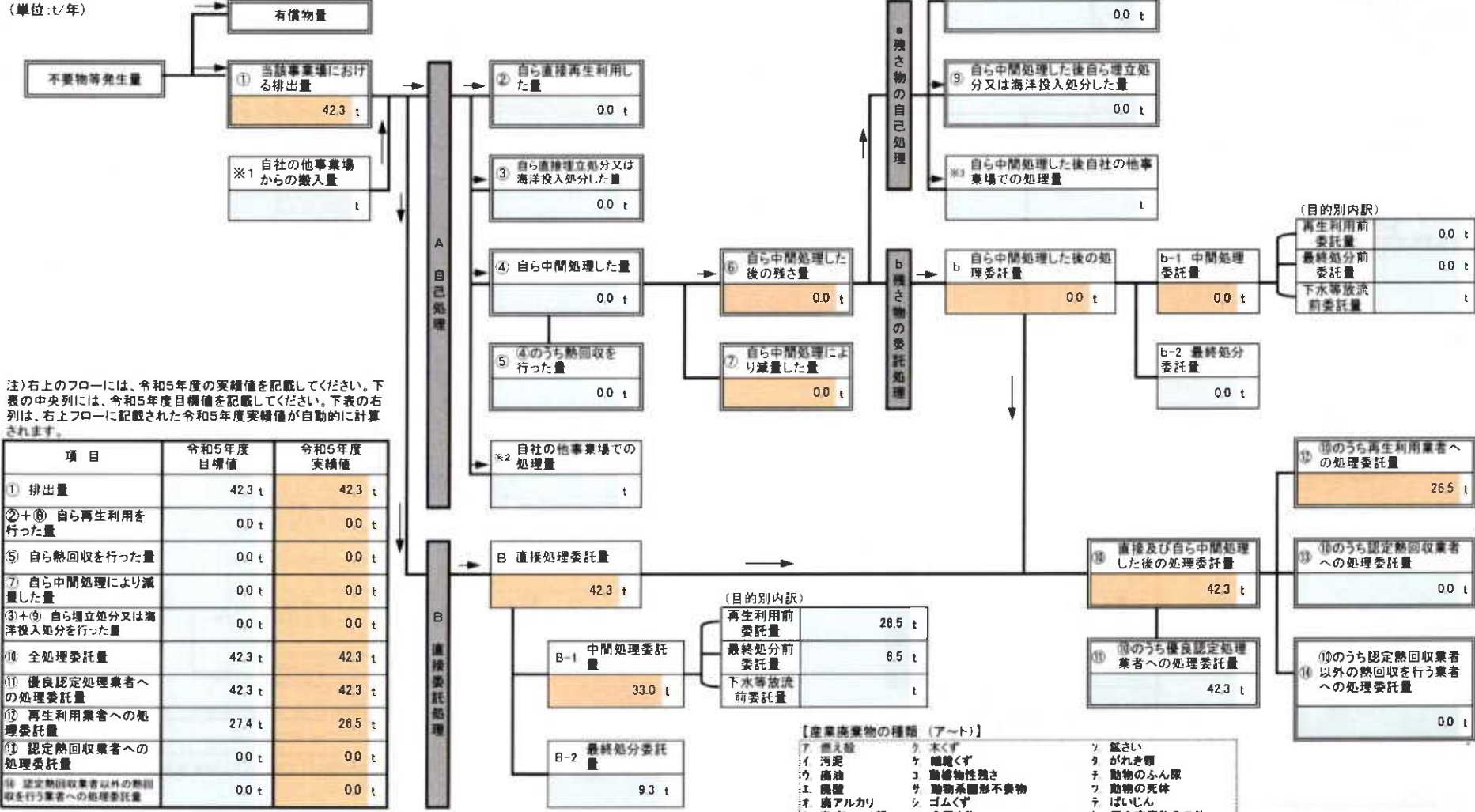
事業場名称：京王建設株式会社

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 ト 混合廃棄物その他

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位：t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	42.3 t	42.3 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	42.3 t	42.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	42.3 t	42.3 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	27.4 t	26.5 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃酸
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 木くず
 - ケ 繊維くず
 - コ 動物性残さ
 - ク 動物系固形不棄物
 - シ ゴムくず
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・セラミックス類
 - ソ 鉱さい
 - タ がれき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ 動物の死体
 - テ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

